

2024年度 名古屋YMCA 年間聖句

「見よ。なんとという幸せなんとという楽しさだろう。
兄弟たちが一つとなつてともに生きることは。」

詩編133篇1節 聖書 新改訳2017版

一つとなつて



日本同盟基督教団シティリジョイスチャーチ牧師 榊原 康成

なんとという幸せと、133篇は最初に私たちが一つとなることの幸せと楽しさこそが最高なのだと歌われています。今、この幸せ楽しさをもっと広げて伝えていきたいと願っています。今は断絶ということが叫ばれています。このような時だからこそYMCAに集う私たちは一つとなっていること、一つとなつていくことの幸せを表していきたいのです。

この詩篇が歌われたとき、人々は各地に離散して生きる悲しみや困難を経験していました。ですから神様の恵みによって集められて同じ食卓を囲みともに生きる喜びこそが大切で本当の幸せだと知っていたのです。美食や豊かな食事をすることが楽しみなのではなく、家族やさらには自分とは違う価値観を持つ人のことも兄弟と呼び、一緒になって食卓を囲み、語り合い、協力して生きる時に幸せを感じ、楽しみを経験することを教えてくれているのです。

自分と他人との違いは時に私に不快な思いを抱かせるかも知れません。しかしそれこそが一つになること、生きていることの証しであり、それを経験した先にこそともに生きる幸せ楽しみがあるのです。

断絶と他者との関係を切って捨てるのは簡単ですが、その先には幸せも楽しみもありません。他者を断絶した相手ではなく、大切な隣人、兄弟として目を向けて交流したいものです。私たちが、心をつなげて大切な働きをする時には楽しみ喜びは増していきます。互いに認め合い、協力して一つとなつて仕えていく時に

はその働きは豊かな実を結びます。

詩篇には聖書の神様とみことばを真ん中にして集まることが語られています。YMCAも聖書が示す愛を真ん中にして働きを進めています。そしてYMCAという群れとその働きに繋がっている私たちは一つとなっているのです。

YMCAには幼い子どもたちを愛して育てるプログラムがあります。青年たちへのプログラムもあれば、青年たちがボランティアとして活躍する場もあります。職員も一つになって活躍しています。長い間支えてこられた年配者もたくさん集っておられて、生き活きと活躍しておられます。その方たちも先輩から働きと隣人に示す愛を引き継いでこられたのです。そうやって一つに繋がって働きが継続し広がってきました。

今、全年代、全方位に向かって働きを広げようとする取り組みをしています。YMCAはこれまでもこれからも聖書の示す愛を真ん中においてその働きを進めていくのです。新しいことは既に始まっています。私たちは断絶などと叫ぶ人ではなく、その働きを通して一つとなつて生きる楽しみを表していく人となつていきましょう。

YMCAには幼子から青年、年配の方にまで表す愛があり、そこから届けられる大切な働きがあります。こうしてYMCAに集っている私たちは一つとなつて生きることの楽しみを自ら味わいながら発信しつつ、その働きを通して幸せと楽しみを広く大きく表して社会に実を結んでいきましょう。

フィリピンフレンドシップキャンプ報告

フィリピンとの「つながり」

2024年2月19日から1週間、名古屋YMCAユースボランティアリーダーとしてフィリピンフレンドシップキャンプに参加しました。主に活動を行ったアルバイ州レガスピ市には自然が多く、マヨン・ボルケーノという美しく大きな火山が私たちを出迎えてくれました。このキャンプに参加する前、私はYMCAを通じて海外の人々と関わりをもてることに大きな期待を抱くとともに、本当に現地の人と英語だけでつながることができるのか不安もありました。しかし、その不安も感じないほど、YMCAの方々や訪問先の学校の子どもたち、先生からすばらしいおもてなしを受け、多くの学びを得ることができました。

特に驚いたのは、3日目に訪問した小学校です。私たちが教室に入ると、多くの子どもたちが「ようこそフィリピンへ！」と頑張って日本語で書いた画用紙を掲げながら笑顔で歓迎してくれました。その小学校で私たちは劇を用いて日本語指導を行い、書道や折り紙、けん玉など日本の文化を紹介しました。さらにフィリピンでも人気のある大人気アニメ『ワンピース』の主題歌を日本語で一緒に歌いました。子どもたちが一生懸命、日本語のローマ字を読みながら、笑顔で歌っている姿を見て、元気をもらえると同時に、日本の文化を伝え、知ってもらうということに喜びを感じました。

また、日本で教育を学んでいる身として、フィリピンの教育格差について興味をもちました。移動中、ストリートチルドレンが車の窓を拭いてお金をもらっている場面や、家族でハンカチを売って食べ物をもらっている場面に遭遇しました。一緒に行動をしていたYMCAの方に質問してみたところ、現地で話されてい



るビコル語以外に英語とタガログ語という二つの言語を話すことができれば、高校に進学する機会すらもつことができない現状を教えてくださいました。コロナ後さらに格差が広がり、学校に行けず、読み書きができない子どもたちを救うため、私と同じユースボランティアリーダーがキャンプを通じて勉強を教えているそうです。今回のキャンプの中で、海外の状況を目の当たりにし、視野を広げ、国際問題に関心をもつことができました。加えて、環境保全のためのサンゴ礁の植え付けや火山の噴火によって仕事を失った人々のために始まったうちわ作りなど、多くの経験をさせていただく機会にめぐまれ、実際に現地の人々とコミュニケーションをとることで、他人事ではなく、当事者意識をもち、自分には何ができるのか考えるきっかけになりました。

このフィリピンフレンドシップキャンプの出会いを大切に、私たちがフィリピンとの架け橋として「つながり」を途切れさせることなく、これからもよりよい関係を築いていきたいと思います。

(いくらリーダー 近藤 梨々香)



〈キャンプ日程〉

- 1日目：マニラ到着
- 2日目：市長との面会、ビコル大学見学
- 3日目：小学校での文化紹介、高校での文化紹介
- 4日目：サンゴの植え付け体験、うちわ作り
- 5日目：高校でのダンス大会見学、高校での料理会
- 6日目：ホームステイ先で観光等、クロージングセレモニー
- 7日目：アルバイ観光

連載① 体操の意義

『子どもと体操』について3回の連載を始めることになりました。今回は体操の特性と子ども(幼児や小学生)にとっての意義を紹介します。

体操の技はマット、鉄棒、とび箱を使って逆さになったり、回転したり、ぶら下がったり、手で跳ねたりと非日常的な動きなので、器用な子でさえ直ぐに思い通りに動くことはできません。慣れない体勢で自分の体をコントロールしなければならず、何度も試行錯誤が繰り返され、技ができるようになるのに多くの時間がかかります。だからこそ技ができた時の達成感としての喜びはとても大きいものがあるのです。

ところが、体操の練習では他のスポーツと異なりゲームや競争でおもしろさを味わうことはありません。練習はほとんど目標とする技ができることや上手にできることに集中します。つまりどのように体を動かせば課題をクリアできるのか、技ができるようになるのかということに常に注意が向けられます。指導者の説明や指示、上手な子の動きの観察等多くのことがわかり、動きのわずかな違いを察知したり、振り返って自分の動き方を考え直したりすることも学びます。動きの習得に特化した練習だからこそ、技を習得していく過程では、他のスポーツの基礎にもなる全身的器用さが高められるだけでなく、感覚的理解を思考によって新たな認識へと発展させる精神的働きも徐々に活性化されていくのです。

子どもたちが体操の技に取り組むことは一昔前と比

べると益々意義深くなってきました。以前から子どもの体力や運動能力の低下は問題視されてきました。最大の要因は子どもの外遊びの減少による多様な運動経験の欠如にあります。低年齢期に基礎的な動きが十分に身につかないと予期せぬ怪我や事故が起こります。骨折した子の話は珍しくありません。事故が原因で遊具が撤去されることもかつてはなかったことです。遊びによって多くの動きを身につける機会が少なくなったと同時に、遊びの環境の変化がもたらす弊害は随所に現れてきました。そこにコロナ禍が一層拍車をかけたのは周知のことでしょう。ゲーム依存、スマホ依存の子が増加したことはほんの一例にすぎません。

子どもを取り巻く状況がより深刻化している今日、心身の健全な成育のために子どもが積極的に体を動かせる環境に関心が高まると共に体操の必要性も増してきたと言えるでしょう。

名古屋YMCA体操教室アドバイザー
福井大学名誉教授

三上 肇 氏

全日本体操競技選手権大会
個人総合優勝、ユニバー
シアードメキシコ大会で
の日本選手団主将を経験。
現在は、体操教室にて若い
リーダーの指導力向上に務
めている。



総主事コラム

秋篠川

奈良の自宅の散歩道は秋篠川の源流付近です。源流といっても住宅地にある大淵池から流れ出る小さな流れに、丘陵地帯の沢筋の水が集められ一本の川筋になっていきます。娘が小さかった頃はカメを見るために川の横の遊歩道をよく訪れ、甲羅干ししているカメに大声を出して驚かし、泳ぎだす姿を眺めては楽しんでいました。川幅も狭くあまり綺麗とは言えない川でしたが、小魚や生き物を狙いにサギが訪れるのどかな川でした。その後「秋篠川源流を愛し育てる会」のボランティアによって約150本の桜が植えられ、春には満開の桜が色鮮やかに咲き誇る

ようになりました。川底も浅瀬と深みを交互に配置し、水の浄化と生き物の溜まり場がバランスよく整備され、自然の力で水が綺麗になりました。植樹された一本一本の桜には寄付者の名前と共に近くの小学生が書いた川柳の札が結ばれています。「秋の川かめの親子が 甲らぼし」「春になり ピンクにそまる あきしのがわ」など川の情景を読んだ句や「川きれい ポイ捨てしない 気をつけや」「川のごみ 他県の海にも 流れつき」など環境問題を意識した句もあります。「たくさんの 生き物守る 秋篠川」は、生物多様性の本質を端的に表現していると感心します。身近の小さな自然ですが、本物に触れると子どもたちの心が豊かになります。

(中村 隆)

能登半島地震緊急支援現地報告

1.5次避難所 石川総合スポーツセンター支援当時の状況と今後について

能登半島地震の災害支援として1週間、1.5次避難所である「いしかわ総合スポーツセンター」に向かいました。この避難所は1次避難所と2次避難所の橋渡しを目的として設置されたもので、石川県が運営を行い、YMCAは石川県のサポートアドバイザーとして働きをもちました。他にも医療や介護、2次避難所の紹介など、多くの団体が支援に入っていました。

ニュースではある程度順調に避難受入れが進んでいるイメージですが、高齢の避難者を受け入れることのできる施設がすぐ埋まってしまう、2次避難できない方が1.5次避難所に長期滞在している現状があります。避難者が滞在する期間は2〜3日を想定していたので、高齢化・長期化に伴う問題に直面していました。また支

援団体も今後縮小していく事が予測されるためその役割を担う人員と団体の調整が必要です。

今後も各県のYMCAからサポートを継続し、募金を集めることで支援を続けていきます。

(現地支援スタッフ 小島 陽、福田 樹)



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年1月21日〜3月19日)

維持会員(継続)

真鍋 孔透 斉藤 典子 加藤 朱美 瀬口 昌久 武田 尚子 相馬 静香
三牧 勉 山村 喜久 下村 徹嗣 下村 展子 深谷 聡 小林 純子

寄付金・募金

(クリスマス献金)

原 寛 渡邊 孝 日本基督教団御器所教会

(能登半島地震緊急支援募金)

杉山 弘時 松尾 恭佑 神野 啓子 原田 望 義井 裕子 木村真智子 和田 芳子 高橋 榮一
小島とよ子 山本 和子 山口 幸子 八木 武志 鷺尾 文夫 渡辺 真悟 荒川 文門 相馬 静香
相馬 朋子 平尾 泉 川口 恵 野村 靖子 西村 清 三牧 勉 小尾 雅彦・昌代
東海ワイズメンズクラブ 東海窯業原料株式会社 オリエンタルビル株式会社 かみさわ保育園
かりやYMCA保育園

早天祈祷会

日 時 4月2日(火)
7:45〜8:30
会 場 名古屋YMCA5F
チャペル
奨 励 日本基督教団
東海教会
和田 芳子 牧師

ワイズコーナー 4月例会の予定

名古屋	4月 9日(火) 19:00〜20:30	卓話 「子どもが「助けて」と言える社会をめざして」 子どもの虐待防止ネットワーク・あいちCAPNA理事 山本秀樹氏	名古屋YMCA
名古屋東海	4月11日(木) 18:45〜	卓話 「相続で遺族が困ること」「終活について」 株式会社ノーサイド取締役 堀井義明氏、高松聡子氏	ラ・スースANN
名古屋 グランパス	4月 3日(水) 18:00〜	卓話 「未定」	南山ファミリー YMCA

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せなんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つとなってもに生きることは。」 (詩編133篇1節)

YMCA News



スズカト(三重県立鈴鹿青少年センター)

スズカトプログラムディレクター **三枝 隆**

桜の訪れが間近に迫る2024年4月1日(月)に、「スズカト(三重県立鈴鹿青少年センター)」「ダイセーフォレストパーク(鈴鹿青少年の森)」がリニューアルオープンいたしました。この事業は2021年8月にPFI事業として民間の資金とノウハウを活用すべく公募され、「三重県が実施する鈴鹿青少年センターと鈴鹿青少年の森の整備運営事業の為に設立された特別目的会社(SPC)」と「鈴鹿フォレストパートナーズ株式会社(7社)」で構成されたグループが選定されました。名古屋YMCAもその一員として開設準備を行い、私と福田樹さんがその役割を担い派遣されています。

このセンターは、皆様もご存じの世界的モータースポーツの聖地とも言うべき「鈴鹿サーキット」に隣接しており、その車やバイクの轟音が時折聞こえてきます。公園の敷地面積は約513,000㎡、センター敷地面積は、約20,070㎡と広大であり、自然豊かな公園の中に宿泊と研修機能を備えています。春はハクモクレン、八重桜が咲き誇り、ウグイスやエナガ、マガモなど多くの野鳥たちが訪れる「野鳥たちの楽園」であり、早朝から近隣や遠方からその自然の美しさに導かれ、ご家族・グループなど多くの方々が利用されています。

スズカトのリニューアルの特徴は、「個人やグループが利用しやすい宿泊室の改修」、「食堂の拡張と雨天



でも利用できるバーベキュー場の設置」、「会議室の他に音楽やダンスも利用可能な研修室改修」、「大浴場改修」、「安全安心、美味しいアレルギーフリーのメニュー提供」、「ランニングステーション設置」などです。中でもYMCAの役割としては、学校団体や青少年教育団体に対する「プログラム企画(体験)・運営・指導者養成」が期待されています。

また、ご利用いただくすべての方々へ向け、「SDGs」、「森林教育」、「3R運動推進：(リデュース・リユース・リサイクル)」という3つのテーマをプログラムに反映させ、その推進に寄与できるよう様々な教育的アプローチをすると共に、YMCAの使命でもある「青少年健全育成：ボランティアリーダー養成」に着手いたします。また公園内では、県内では数少ないカヤック体験(道伯池)などが可能であるため、YMCAの野外活動やアクアテックプログラムのノウハウを十二分に生かすことができると考えています。地域住民の方のみならず、県内外の多くの方からも注目いただいておりますので、皆様ぜひこの自然ゆたかな「スズカト・ダイセーフォレストパーク」へお立ち寄りください。



URLは
こちら



スズカト



ダイセー
フォレスト
パーク

新採用職員紹介



はじめまして

本館・ウエルネス 瀬川 景子

私の人生の節目にはYMCAがありました。初めて参加したキャンプ、予備校、リーダー活動、中でもシンガポールYMCAで勤務したことは、大きな節目となりました。一時は離れましたが、こうしてまたYMCAで働く機会をいただき感謝します。地域の皆様に喜ばれるプログラムを進めていけるよう頑張ります。



よろしくお願いします

南山幼稚園 足立 智美

保育士として初めて働き始めたのが今から約20数年前。途中子育てを挟んだ時期もありましたが、この仕事を続けることができました。南山幼稚園に勤務できることに心から喜びを感じております。キリスト教を基盤とした、一人ひとりを大切に、丁寧に関わる保育に共感し、少しでも近づくことができるよう、日々心に留めて保育にあたっています。そして今ここに関わる全ての皆様に生かされているのだと感じています。



ご挨拶

日本語学院 竹内 奈津実

4月から日本語学院で日本語教師としてお世話になります。このようにご挨拶ができることを心より嬉しく思っております。日本語教師という仕事は本当にやりがいのある仕事だと日々感じています。学生の皆さんが卒業する時に「YMCAに来てよかった」と思ってもらえるような教師、学校でありたいと考えております。



仕事と子育て

かりやYMCA保育園 酒井 沙織

私は2児の母でもあり、まだ子どもも小さく子育てに奮闘中です。今年から仕事復帰をしましたが、子育てと仕事の両立にとっても大変さを感じています。そんな自分の強みは、これまでの保育士目線だけの保育ではなく、母親目線でも保育を考えられることだと思います。子ども達の成長を、保護者に寄り添いながら見守っていきたいです。また、趣味である登山やキャンプなども楽しみ、メリハリのある生活をしていきたいです。



素敵な給食づくり

かみさわ保育園 栄養士 比嘉 みつき

栄養バランスはもちろん、見た目やイベントなども大切に給食づくりをしたいと思っています。子ども達の「おいしい！」の声や、名前でも呼んでもらえることがすごく嬉しく、毎日の活力になっています。また私は沖縄県出身なので、愛知県特有の文化や郷土料理に触れることも楽しみです。一人ひとりに寄り添った、安全で安心なおいしい給食づくりができるよう日々努力し、成長していきたいです。



はじめまして

南山幼稚園 草間 舞香

新しい環境に慣れず不安もありますが、子どもたちと笑顔がいっぱい溢れる1年間を過ごしたいと思っています。私は旅行やドライブをすることが好きで、北海道と沖縄に行きたいです。また趣味は、韓国語を勉強することなので韓国にも行きたいです！



ともに

日本語学院 小澤 真生子

皆さん、はじめまして。この度、日本語学院で常勤講師として勤務することになりました。学生のことを第一に考え、また講師の皆さんが働きやすいよう、まずは自分ができることから実践し、様々なことに挑戦していきたいと思っています。学生と共に学び、自分自身も成長できるよう、日々努めてまいります。



子どもたちの一番の理解者である保育士に

かりやYMCA保育園 高橋 咲季

私は幼少期の担任の先生に憧れ、将来の夢はずっと保育士でした。そして現在、大好きだった先生のように、子ども達に寄り添い一番の理解者となれる保育士でありたい、という想いがあります。子どもたちと全力で遊び、一人ひとりの子どもたちと向き合い、楽しい！できた！やってみよう！悔しい…たくさんさんの感情と共に出会い、成長をサポートしていきたいです。



抱負

かりやYMCA保育園 深谷 萌菜

私は保育士になることが幼い頃からの夢でした。年下の子と遊ぶ機会が多く、その子のために何かしてあげたいという気持ちから、お世話をすることの楽しさを知りました。好きな事や自分に合った仕事がしたいという想いから目指した保育士ですが、実際に働いてみると、子どもへの声掛けの仕方や安全に保育をすることの難しさを感じています。少しずつ子どもとの信頼関係を築き始めた4月…先輩や子どもたちからたくさんのことを学び、自分の強みを見つけていきたいです。



再会

本館 高 智子

4月から本館で受付パートとして勤務することになりました。以前京都YMCAで会計業務や文化教室の運営に携わっていましたが、この度思いがけず、再びYMCAで働く機会に恵まれ、大変感謝しています。長いブランクもあってまだ慣れませんが、来館される方やお問い合わせ等によりしっかり対応できるよう努めて参ります。

連載② 名古屋YMCA体操教室の特徴

体操の練習で技ができたとき、課題をクリアしたときに見せる子どもの笑顔は実に美しいものです。「やったー」という喜びは体操指導者の楽しみでもあり、子どもたちに多くの技をできるようにさせたいという思いはこの体操クラブでも共通でしょう。短い期間で多くの技ができることを会員募集のキャッチフレーズにしているクラブも少なくありません。けれども技ができることだけを優先させると、練習の無理強いや偏った精神面の強化に陥りやすく、子どもたちは体操の面白さを十分に味わうことなく、練習に義務意識を持ててしまいます。一方的な指示や必要以上の補助によって技ができて次への課題に対する挑戦意欲が湧いてこないようでは子どもの多面的成長は望めません。練習中には子どもたちはいろいろなことを思ったり、感じたりするものです。それをくみ取りながら多少時間がかかっても、子どもたちが自分で考えて練習でき、自力でできたという実感を持てることが極めて重要なことであり、子どもたちが自身の動きの変化に気づき、それに工夫できるように導くことが体操指導者の本来の役割なのです。

名古屋YMCA体操教室では、子どもたちがマット、鉄棒、とび箱、トランポリンの技にチャレンジすることを通して、子どもたちの心身の健全な発育発達を目的としています。

幼児は様々な動きを幅広く経験することで、技を行うのに必要な体力や身体コントロール能力の向上を主なねらいとしています。もちろんできそうな技に取り

組むこともあります。小学生になると練習する技も徐々に増えていきます。技ができることはもちろん目標ですが、そこに至るプロセスにも同様に重きを置いています。競技志向の体操クラブが行っている促成訓練的な指導は行っていません。

YMCAの各リーダーは子どもたちの試行錯誤を促すべく、技の解説や練習の仕方の説明をより分かりやすく心がけたり、タブレットの動画撮影を活用して動き方を理解させたり、ときには質問して考えるきっかけを与えたり、子どもたちの個性に応じた多岐にわたる関わり方に努めています。全てのリーダーが体操の専門性に精通しているわけではありませんが、年数回の研修会に積極的に参加しスポーツ科学に裏づけられた指導理論を学び、子どもたちに寄り添いながら、子どもたちと共にリーダーとして成長していくことを願っています。

名古屋YMCA体操教室アドバイザー
福井大学名誉教授

三上 肇 氏

全日本体操競技選手権大会
個人総合優勝、ユニバー
シアードメキシコ大会で
の日本選手団主将を経験。
現在は、体操教室にて若い
リーダーの指導力向上に務
めている。



総主事コラム

ちいさなかごに

新しい年度が始まり、一つ大きくなった子どもたちが幼稚園に登園してきます。元気に挨拶をしてくれるお友だちに、まだまだ不安げなお友だち。子どもの育ちはそれぞれなので、そのすべてを受け止めて「おはよう」と声をかける生活が戻ってきました。仕事の都合上、毎朝とはいかないのが残念ですが、可能な限りお迎えしたいと思っています。長い間、多くの子どもたちに「おはよう」と声をかけていますが、ここを込めた挨拶には、どの子どもたちも豊かに反応してくれることに改めて気づかされます。そして「ちいさなかごに」の2番の歌詞をひとり

口ずさみながら、讃美歌によってあいさつの大切さを今一度教えられています。幼稚園で大切にしている讃美歌には大切な教えがたくさんあります。子どもたちだけでなく、一日に出会うすべての人にここを込めて挨拶したいと思います。

「おはよう」とのあいさつも ころこめて交わすなら
その一日おたがいに よろこばしく過すでしょう
愛のわざは小さくても 神の御手がはたらいて
悩みの多い世の人を あかるくきよくするでしょう

讃美歌 第二編 26番

追記：1番のAメロも添えておきます。小さなかごに花をいれ
さびしい人にあげたならへやにかおりが満ちあふれ
くらい胸もはれるでしょう

(中村 隆)

日本語学校卒業式

3月21日に名古屋市東文化小劇場で卒業式を行いました。68名の学生が名古屋YMCA日本語学院を卒業し、新たなスタートをきりました。学生たちは正装で出席し、それぞれの国の民族衣装をまとう学生もいて、日本語学校らしい華やかな雰囲気でした。

第1部の学習発表会では、模擬裁判動画・YMCA拠点紹介・シットコム動画の3つの発表がありました。動画では、撮影・脚本・編集のすべてを学生が担当し、クオリティの高いユーモアあふれる動画もあり、会場が笑い声に包まれる楽しい時間になりました。また、YMCA施設訪問では、学生たちが感じた名古屋YMCAの姿について報告がありました。各施設の訪問で、ご協力くださったみなさまに感謝いたします。施設訪



問を通して、自分たちの国との違いや日本の文化について学ぶことができました。

卒業後も日本語学院での思い出を胸にそれぞれの夢に向かってがんばってほしいです。

(担当スタッフ 松吉 志緒音)

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年3月18日～4月19日)

維持会員(継続)

黒田 忠嘉 黒田 邦子 山本 伸彦 渡邊 信子 服部 千秋 加藤 明宏 福田 義正 西村 清
西村 牧子 岩瀬 康彦 小林 滋記 松浦 剛 嶋崎 英子 加藤 渡 三牧 勉 平井 真希
小島とよこ 山本 和子 桐山 潤 桐山 恵子 山口 一雄 松井 克巳

寄付金・募金

(能登半島地震緊急支援募金)

嶋崎 英子 社会福祉法人シャローム 老人ホームセツトンの家

早天祈禱会

日時	5月 7日(火) 7:45～8:30
会場	名古屋YMCA5F チャペル
奨励	めぐみキリスト教会 山口 春雄 牧師

ワイズコーナー 5月例会の予定

名古屋	5月14日(火) 18:30～20:30	次期事業計画 TOF例会	名古屋YMCA
名古屋東海	5月 8日(水) 19:00～	卓話「ホリスティック医学について」 講師：真鍋 孔透氏	ラ・スース ANN
名古屋 グランパス	5月 9日(木) 18:45～20:30	日和田キャンプ場支援案検討	名古屋YMCA

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

YMCA News

6

全国リーダー研修会

無限大の可能性を実感した3日間

5月4日(土)～6日(月)に岩手県の国立岩手山青少年交流の家で開催された全国リーダー研修会に参加してきました。

今年の研修会のテーマは「前途洋々～可能性は無限大～」でした。全国のリーダーとプログラムを通して、意見交換を重ねる中で、考え方は様々で、その分多くの可能性が広がっているなど感じることができました。特に私が無限大の可能性を実感できたのは、1日目に行われた、ワールドカフェです。そこでは、グループに分かれて「理想のリーダー像」を話し合いました。私自身、理想のリーダー像は何となくありましたが、言語化したことはなかったので、初心に戻り、リーダーとは何か、自分を見つめ直さすきっかけとなりました。また話し合いを進めていく中で、リーダー同士で得意不得意を埋め合わせれば、各々が想像する理想に近づけるのではないかという結論に至りました。リーダー同士で助け合えれば、何にでもなれることに気づき、目の前の自分自身の可能性も広がりました。加えて2日目の選択式ワークショップでは、自分自身にはなかった発想力を他のリーダーから吸収することができて、より自分の視野を広げることができ、これからの活動のさらなる意欲につながりました。

また、最終日には屋台村と呼ばれる、各グループで対象や狙いを決めてゲームを作り、実践するプログラムがありました。そのため、屋台村に向けて各グループで、3日間話し合いを重ねて、ゲームの作成を行い

ました。どのグループも対象とねらいに沿った、工夫されたゲームばかりで、子どもと関わる上で学ぶことも多く、とても有意義な時間でした。また、改めてプログラムを考えるなかで、狙いを定めることの大切さを実感することができました。

そして、キャンプファイヤーでは、仲間と協力することの大切さや、各YMCAで行われているレクの紹介を通して、子どもと関わる上での新たな引き出しを手に入れることができました。

さらに、今回の研修で印象的だったのは、移動時間やふとした瞬間にたくさんのリーダーがキャンプソングを口ずさんでいたことです。自分だけでなく、全国のリーダーもキャンプソングが大好きなのだと感じることができ、自分の知らなかったキャンプソングを教えてもらったり、自分自身も紹介することができて、よりキャンプソングが大好きになりました。今後の活動でも子どもたちと、たくさんキャンプソングを歌って、楽しさを共有していきたいと思いました。

あっという間だった3日間でしたが、全国のリーダーに初めて会って、拠点は違っても、同じ活動をしているからこそ、強い気持ちや楽しさや喜びを共感することができ、最高の仲間になることができました。

全国のリーダーと全力で活動した日々は貴重で、一生忘れることのできないものになりました。今後は、研修会で知った自分自身の無限大の可能性をこれからのYMCAに活動に活かしていきたいと思います。



たらリーダー
小島 佳奈

リーダートレーニング

最高の仲間になれた！

私は日和田リートレを通して、グループの発展を身をもって体感することができました。特に印象に残っているのはオリエンテーリングの時のことです。最初は順調に進んでいましたが、途中で現在地がわからなくなっていました。みんなで地図とコンパスを見つめながら「こっちかな？」と試行錯誤を繰り返しましたが、なかなか目的地につきません。疲れが見え始めた頃、あるリーダーが「こっちに進もう」と指をさしました。その先は、高い草が生い茂る道でした。しかし、全員が「よし！行ってみよう！」と彼の挑戦を受け入れていました。進んでみたものの行き止まりでしたが、皆が「楽しかったね！」「貴重な体験だったよ」と前向きな言葉を交わしていました。楽しく過ごせたのは、このメンバーなら「やってみたい」を伝えられるという



関係性に発展したからこそ、挑戦を応援し合えたのだと感じました。失敗を責めず、温かい関係性を築けたことが大きな学びとなりました。

(リトルリーダー 井澤 愛美)

学童キャンプ支援のお願い

YMCAは1920年に六甲山で日本初の組織キャンプを開催し、以来100年以上、グループワークの手法を用いた教育的組織キャンプを提供してきました。現代の日本では、子どもの社会問題として虐待、貧困、教育格差、一人親家庭などが挙げられます。名古屋YMCAでは2016年から「すべての子どもたちに自然体験を」をテーマに、参加費の補助により参加の機会を広げています。学童キャンプでは、様々な世代や環境の人々が交わり、子どもたちの成長と親のリフレッシュを図り、安心して安全な自然体験を提供しています。一人ひとりが大切にされ、仲間との喜びや自然の中での挑戦を通じて、子どもたちの自信や期待を育む場となっています。多様な世代の子どもたちに自然体験の機会を提供するために、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。(担当スタッフ 小島 陽)

お申込みはこちら

1期 : 7月22日(月)～7月27日(土)
2期 : 7月29日(月)～8月 3日(土)
場所 : YMCA日和田高原キャンプ場
対象 : 小学生



ご支援はこちら

- 三菱UFJ銀行
きよなみ支店(804) 普通
1117990 公益財団法人名古屋YMCA
- ゆうちょ銀行
同封の振込用紙記載の口座
- 名古屋YMCA各拠点窓口



連載③ 名古屋YMCA体操教室の特徴 2

今回はYMCA体操教室の特徴として、技ができるだけでなく、そのプロセスにも子どもの成長に欠かせない大きな価値があることから、リーダーは子どもの自主性や積極性を促す関わり方に努めていることを挙げました。今回はさらにYMCA体操教室の特徴を別の視点から紹介しましょう。

いろいろな理由から戸外で遊ぶことが減ったことで、子どもたちの基本的動きの習得は低い段階のままであると述べていましたが、その余波は目に見える運動のレベルだけではなくありません。子どもの精神的・社会的問題としてもクローズアップされてきました。かつて子どもたちは遊び仲間との関係の中で多くのことを学んでいました。もめごとがあってもお兄さんお姉さんが仕切っていたり、取っ組み合いのケンカになっても許容範囲をわきまえたり、遊び仲間の集団を成り立たせる暗黙のルールを理解し守っていたのです。ところが遊びのコミュニティの衰退は、倫理規範、他者理解、意思伝達、感情制御等、社会生活に不可欠な能力を育む機会も減少させたのです。その結果、不登校や引きこもり、ゲーム依存やスマホ依存、他人の痛みや辛さを感じとれない、限度を越える子どものケンカ、少年犯罪等々、子どもの危機的状況として取り上げられてきました。

多くの体操教室では技能レベルが同じような子どもをひとつのグループにまとめて練習するのが一般です。それは一斉指導に都合が良く、練習の効率が上が

り、子どもたちの競争意識が高まり、技の覚えも早まるということです。技ができるという目標に特化した成果主義では子どもの今日の問題に正面から取り組むことはできないでしょう。

YMCA体操教室は技を覚えると共に、子どもたちの相互交流や友達づくりを支援する場でもあります。それだからこそ集団活動で自然発生的な「子ども同士の教え・教わる関係」を大切にしています。練習はグループ練習と全体練習の2つの形態で行っていますが、他所の体操教室との違いは全員で一緒に行う基礎的な導入練習に多くの時間を割いていることです。ここでは上手な子や高学年の子は幼児や低学年のお手本であり、時にはコツの伝達も行い、リーダーの代役をこなすこともあります。長なわとびは男女、年齢、能力の別なくほぼ全員で行い、かけ声をかけ、励まし合う姿は心あたまるものです。

子どもたちの自主性や積極性さらには精神的・社会的成長を促し、なおかつ技をできるように導くことは確かに難しいことです。それでもその実現へのアプローチを可能にしているのは、リーダーたちが体操以外に子どもの成長をはっきりと見すえた野外活動にも携わって、子どもが変わっていく様子を肌で感じているからでしょう。リーダーたちは保護者の方々との連携を密にしながら子どもたちが健やかに成長していくことを大きな喜びにしています。

(名古屋YMCA体操教室アドバイザー 三上 肇)

総主事コラム

東京アクアティクスセンター

コロナ禍が終息し、ようやく出張の機会も通常に戻りました。会議は対面式とオンラインが併用され、直接会うことの大切さに改めて気づかされるとともに、オンラインの便利さも享受しています。先日2日連続して東京で会議があったので、余裕のあった2日目の午前中に東京オリンピック2020の会場であった東京アクアティクスセンターを訪れることにしました。長水路(50M)プールでオリンピックの気分を少しでも感じようと楽しみにしていましたが、当日は一般開放されておらず、急遽千駄ヶ谷にある東京体育館室内プールに行先を変更し、僅か700円で水深2mの50mプールを堪能いたしました。水泳の聖地といえば、1964年東京オリンピックの会場となった代々木オリンピックプール。2代目は老朽化し

た施設に代わり1993年にオープンした辰巳国際水泳場。そして東京オリンピック2020のために造られた東京アクアティクスセンター。東京オリンピック2020開催にあたり、公認プールとして国際基準を満たしている辰巳国際水泳場は観客席が不足しているという理由で水球会場に限定され、隣接地に東京アクアティクスセンターが造られました。古い建物を大切に使用する欧州の文化とは違い、約30年ごとに新しい場所に新しい施設が造られる。TOKYO2020レガシーの理念は生かされたのでしょうか。スポーツを楽しめる環境は平和で文化的な営みであるはずなのに、日本は豊かさを勘違いしているように感じます。因みに、日本で最初の室内プールは1917年東京YMCAに造られ、従来の古式泳法に変わって近代泳法が研究され、世界に羽ばたく多くのトップスイマーが育っていきました。

(中村 隆)

夏休みプログラム募集開始！

夏休みプログラムの募集が始まりました！コロナ規制以前の風景が戻り、子どもたちの笑顔や交流を見られることをうれしく思います。昨年度は会員のみならず、YMCAにまったく関わったことのない方や、祖母から勧めていただいた方、海外から一時帰国された方

など、幅広い層にご応募いただきました。

今年もたくさん子どもたちやそのご家族に参加していただけるよう、安全で楽しく、豊かな心身が育まれるプログラムを準備しております。ぜひご応募ください！



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年4月20日～5月22日)

維持会員(継続)

義井 裕子 坂本 清則 岡本 栄世 塩田 保 田中 万寿 磯部 裕幸 磯部真知子 鈴木誠一郎
渡辺 真悟 馬場美菜子 高橋 咲季 水野かきつ 永田 春香 今村 敦司 安細 好子

Olson Kikuchi 三恵

寄付金・募金

(学童キャンプ支援) 杉浦真喜子

早天祈祷会

日時 6月4日(火)
7:45～8:30
会場 名古屋YMCA5F
チャペル
奨励 高岡 清 牧師
(日本基督教団田原吉胡
伝道所代務者)

ワイズコーナー 6月例会の予定

名古屋	6月11日(火) 19:00～	第一例会 新入会者歓迎会	ラ・スースANN
	6月17日(月) 19:00～	第二例会 役員会	Zoom
名古屋東海	6月13日(木) 18:45～	卓話「タイトル未定」 講師：栗元 貴司氏	ラ・スースANN
名古屋 グランパス	6月19日(水) 19:00～	引継ぎ	名古屋YMCA & Zoom

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんという幸せ なんという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

YMCA News

7.8



ワイズメンズクラブ国際協会 第27期西日本区大会

西日本区大会理事
名古屋ワイズメンズクラブ 深谷 聡



6月8日新緑の名古屋でワイズメンズクラブ国際協会第27期西日本区大会を開催する事ができました。当日は天気にも恵まれノスタルジー溢れる名古屋市公会堂に各地より570名のワイズの方々が集まることができました。中部ワイズメンバーは会員減少の中、ワイズ運動で養われた友情とフェローシップで5クラブの有志の結集で今回の大会を成功裡に導いたと確信します。また名古屋YMCAのお陰でユースリーダーの皆様にも沢山のお手伝いを頂き心より感謝申し上げます。

大会が始まると、神聖な雰囲気な公会堂に感動しました。テラコッタデザインの建物に石やタイルで散りばめられた床に優雅さを感じることができました。鶴舞駅や鶴舞公園では、朝早くから大会ユニフォームに着替えた中部のワイズやユースリーダーの案内で、スムーズに大会をスタートすることが出来ました。特にユースリーダーのテキパキとした行動に多数のお褒めのお言葉を頂きました。昼食は、『矢場とん』様の豪華な弁当がとても美味しく好評でした。鈴木ワイズありがとうございました。大会はスムーズな展開で、開会宣言、バナーセレモニー、来賓挨拶、各種報告、理事引き継ぎ式、表彰式、奈良傳賞と予定通りに終了することが出来ました。これも偏に、皆様のご協力の賜物

と感謝申し上げます。

懇親会は金山のANAグランコート名古屋で開催されました。残念ながら1つの会場で570名の対応できる部屋が無く、仕方なく2部屋での開催となりました。メインホールのゲストは『大阪センテニアルクラブ』の芝田ワイズ率いる『バックウッズ マウンテニアーズ』の心地よい演奏でブルーグラスミュージックを満喫できました。第2会場のゲストは、世界最速の三味線奏者の山口晃司さん。三味線とキーボードでファンキーなリズムに興奮を覚えました。食事も大好評で本当に良かったと思います。ワイズは1人では何もできません。皆が一つとなって大会を開催でき、中部の底力を感じられたと将来に希望を感じる事が出来たとの言葉に胸を撫で下ろすことが出来ました。

中部のメンバーは、ほぼ2年間お忙しい所大会準備に注力頂き、心より感謝申し上げます。ここで養われた友情こそ私達ワイズの宝になると信じて病みません。ワイズとYMCAの発展と皆様方の上に平安な世界を与えられる様、お祈り申し上げます。

ワイズメンズクラブとは、YMCAのためのサービス
クラブとして活動する国際的な奉仕団体です



YMCAキャンプの魅力

業績悪化による大幅な減収を背景として、アウトドア用品大手企業が上場廃止を発表したニュースは記憶に新しいと思います。このニュースを耳にした時、コロナ禍で沸き起こったある種の「キャンプブーム」「アウトドアブーム」の終焉を感じた人も少なくないのではないのでしょうか。いずれにせよ、キャンプに対して目を向け、キャンプに参加・実践する人が少なからず増えたということは、キャンプがより身近な活動になったとも理解できます。しかしながら、このコロナ禍に沸き起こった「キャンプブーム」はレジャーキャンプとして称される活動であり、我々が意図するキャンプとは異なる側面を有しています。

キャンプという言葉の語源を辿ると「campus(平らな場所・広場など)」に行きつき、そこから転じて「野営」「陣営」、さらには「同志」という意味も有しているとされています。“何もない開かれた場所に仲間(同志)と共に集い、生活を営み、交わり、育む”。つまりは、自然に身を委ねながら生活する「不自由の中の自由」を大切にし、そこで他者と共に生活を営む中で、他者との交わりと葛藤に向き合い、自然とヒトによって育まれる場を「キャンプ」として捉えることができます。これは決して特別なことではない一方で、物的に満たされた現代社会においては経験できない(もしくは、避

けることが可能な)営みとなっている事実にも目を向けてはいけません。そのような中で我々は、子どもたちにとっては非日常であるキャンプ(=他者との交わりの中で営み・向き合い・はぐくむ時間)を設定し、その成長を見守る場を設けています。さらには、そこにリーダーという存在を仲介させることで子どもたちの成長を促進させるだけではなく、リーダー自身が子どもたちとのかかわりの中で自己に気づくことを通して、リーダー自身の「自分とは何者か」を探求する機会にもなり得ることに期待を寄せています。YMCAの基盤にある青少年の健全育成に立ち戻った時、キャンプの役割について改めて気づかされるのではないのでしょうか。

決して、昨今のキャンプブームやレジャーキャンプを否定するものではありません。しかしながらそういった社会的な流行に左右されるキャンプではなく、我々は、時代を超えて、世代を超えて、他者と・自然と・自己との交わりの中で育まれる場としての不変的なキャンプをアイデンティティとして紡いでいくことが求められていると感じてやみません。

(東海学園大学スポーツ健康科学部 井澤 悠樹)
日和田キャンプ委員会委員長

学童キャンプ支援金募集中！

三菱 UFJ 銀行 きよなみ支店 (普) 1117990
公益財団法人名古屋 YMCA



新入職員紹介

心機一転

こんにちは。長い間、かみさわ保育園でお世話になっていましたが、この度発達サポートYMCAつるさとに異動になりました。かみさわ保育園ではたくさん子どもたちに囲まれて楽しい毎日をすごしてきました。今後は、また新しい子どもたちとともに学び成長して行ければと思っています。心機一転、頑張ります。

(発達サポートYMCAつるさと 井上 真里)



初めまして

6月から新しく名古屋YMCAに加わるようになりました内藤大祐です。リーダーネームはおにぎりです！理由はシンプルに一番好きな食べ物だからです！幼少期からとにかくサッカーボールを追いかけて育ち、大人になってサッカーに携わったお仕事をしたいという夢を叶えるためイギリスのロンドンに単身渡ってコーチとして生活したりもしました。その後、地元の名古屋でチームを探す中で、以前自分が小学生の時に選手としてお世話になったことのある名古屋YMCAに縁があって加わるようになりました。サッカーを通じて子供たちが楽しくすこやかに育つための、お手伝いが出来たら嬉しいです！

(南山ファミリーYMCA 内藤 大祐)



はじめまして

南山ファミリーYMCAで勤務させていただくことになりました。子どもたちが楽しく元気に活動を送れるよう精一杯サポートしていきます！これからよろしくお願いいたします。最近ハマっていることは読書です。お薦めの本がありましたらぜひ教えてください。

(南山ファミリーYMCA 人見 梢恵)



総主事コラム

毒矯み(ドクダミ)

南山幼稚園のみどり門のすぐ傍に、5月頃から大きな緑の葉っぱに小さな白い花を咲かすドクダミが群生します。独特な香りで成長も早いので邪魔者扱い。おまけに抜いても刈っても残った地下茎から新しく発芽し、以前よりも勢力を増します。除草剤を用いて根から枯らすことが効果的ですが、同時期に綺麗なピンクの花を咲かすツツジと接しているので除草剤を使用することは躊躇われます。どうしたものかと思案していると、「小さな白い花は抜いちゃったの？」と一人の園児から質問を受け、正解が閃きました。これからは、ドクダミの小さな白い花を生かして、ピンクのツツジの花を囲むことにいたします。大人が勝手に邪魔者扱いしていたドクダミも実に

可愛い花を咲かせます。おまけにドクダミは薬草で殺菌作用があり、ベトナムでは食用として生春巻きにも用います。ドクダミ茶には様々な効用があることはご承知の通りです。一方、誰もが一度は吸ったことのあるツツジの花の蜜。種類によっては毒性があり注意が必要ですが、幼少期に自然の蜜の甘さやミツバチの働き、自然の不思議さを感じるには最高の教材です。「神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ、それは極めて良かった。」創世記1-31と記されている通り、自然の営みに勝る人間の知恵など存在がなく、自然の力を生かすことが人間に与えられた知恵なのでしょう。「昔は汲み取り便所にドクダミを入れておくと虫が来なかった」と元気に体操に来られているおばあちゃんが教えてくれました。

(中村 隆)

春の収穫祭

発足以来一年過ぎましたが、2024年南山ハーベストクラブの春の活動の中間報告です。春の収穫量は玉ねぎ約1万個、ジャガイモ約200kgでした。南山幼稚園、YMCAかみさわ保育園、かりやYMCA保育園の給食材料としての提供、YMCA日和田高原キャンプ場、名古屋YMCA日本語学院の生徒配布用など名古屋YMCA全施設に提供出来ました。昭和区の名広愛児園、南山寮、緑区の障がい者施設「希望の家」の給食用にも提供出来ました。また南山幼稚園児家族、サポート会員のための収穫祭、発達サポートYMCAつるさとの遠足、その他の団体の収穫祭などで延べ150名以上の来場があり全て好天に恵まれ、ピザ、BBQなどで楽しい一日を過ごしていただきました。春の収穫が終わり秋のサツマイモの植え付けも終わりほっと一息、秋の施設各招待などのプログラムの準備期間に入ります。



南山ハーベストクラブの活動はささやかですが、YMCAサービス、地域施設援助などメンバー一同楽しく活動しています。ご興味のある方はぜひご一報ください。
(南山ハーベストクラブ 荒川文門)

南山ハーベストクラブ 連絡先
nanzanharvest@gmail.com

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年5月23日～6月20日)

維持会員

(新入) 松浦みち子 瀬川 景子 小林 紗希
(継続) 八木 武志 黒柳 麻琴 牧野 和博 吉田 一誠 杉山 弘時 土屋 俣子 小澤 幸男
加藤 久雄 平尾 泉 鷲尾 文夫

賛助会員

(継続) 丸丹スポーツ用品株式会社 学校法人金城学院 オリエンタルビル株式会社

寄付金・募金

(学童キャンプ支援) 杉浦真喜子 木村真智子 小尾 雅彦 塩田 保 下村 徹嗣 磯部 徹
渡辺 孝 神野 啓子 浅野 猛雄 原田 望 林 敦子 山口 幸子
義井 裕子 西日本区大会

早天祈祷会

日時 7月2日(火)
7:45～8:30
会場 名古屋YMCA5F
チャペル
奨励 八束 清氏
(御器所教会)

ワイズコーナー 7月例会の予定

名古屋	7月9日(火) 19:00～	総会	名古屋YMCA
名古屋東海	7月6日(土) 時間未定	キックオフ、懇親会	未定
名古屋グランパス	7月6日(土) 16:45～	総会	名古屋YMCA

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

YMCA News



YMCAかみさわ保育園・神沢ファミリーYMCA10周年記念事業



『一人ひとりを大切に育む』

YMCAかみさわ保育園 園長 東田 美保
神沢ファミリーYMCA 館長



2014年、名古屋市が推進している保育所入所待機児童対策の重点地域であった緑区神沢の地にかみさわ保育園を開設、さらに保育園や近隣の子どもたちへYMCA活動を提供するファミリーYMCAを併設し、子育て支援の拠点として歩み始め、今年10周年を迎えました。

家族のライフスタイルと、それに付随して、地域が担う子育ての役割が大きく変化する中で、保育園とファミリーYMCAは開設されました。加速する社会、加えて3年間続いたコロナ禍での生活の影響を受け、私たちに求められる役割もまた、10年の間に変化し続けてきたように思います。しかし私たちがこの10年変わることなく大切にしてきたのは、**一人ひとりを大切に育む**ということです。保育や活動を通して子どもたち一人ひとりが、神さまから与えられたかけがえのない存在であることを知り、自分自身と隣人のことを大切にすることのできる人を育てています。

2024年度の保育園には、定員である69名の子どもたちが通い、様々な経験を重ね、成長する日々を送っています。また、“卒園した子どもたちが帰ってくること

のできる居場所であり続けたい”という想いから、卒園児と在園児が共に遊ぶカミングデーを行ったり、10周年記念事業として同窓会を行ったりしました。開設以降初めてとなった同窓会は、小学1年~中学3年生までの80名の卒園児たちが、すっかり成長した姿で帰ってきてくれました。こうした広がりや繋がりをもてるのは、保護者の方々をはじめ、地域の方々や子どもたちの安全を守ってくださる方々、様々な行事をサポートしてくださる方々など、多くの存在が私たちのYMCAに連なり、支えてくださっているからこそだと改めて感じます。

地域の子育て支援のニーズに応えつつ、子どもを育むというYMCAの理念を基盤にスタートしたかみさわ保育園とファミリーYMCA、今後も変化に対応し、一人ひとりを大切に育む保育・活動を継続していきたいと思っています。ぜひともご支援とご協力をお願いいたします。

10周年記念事業の概要

- ①子どもたちの生活・活動の環境整備(園庭環境の整備、保育室、トイレ、防犯安全に関する施設設備の整備)
- ②YMCAかみさわ保育園記念誌作成
- ③YMCAかみさわ保育園記念同窓会実施
- ④記念募金の実施(園庭整備のために)
目標額100万円 募金額一口3,000円

寄付
振込先

三菱 UFJ 銀行（普）
きよなみ支店（804） 1117995
公益財団法人名古屋 YMCA



同窓会の様子

学童キャンプ報告 ～すべての子どもたちに自然体験を～

成長を感じた6日間

7月29日～8月3日に学童キャンプ2期が行われました。日和田キャンプ場の恵まれた自然の中、23人の子どもたちが元気いっぱい過ごしました。

午前中は勉強と自由遊び。自由遊びでは、虫取り、野球、バレーボール、カードゲーム、友だちとおしゃべりなど、自分の興味があることを全力で楽しむ子どもたちの姿があり、私も一緒に全力で遊びました。特に印象に残っていることは虫取りです。名古屋ではなかなか見ることのできないアカハライモリを求めて、子どもたちは毎日網と虫かごを持って池に向かっていきました。最初は怖くて触ることができなかった子も、日が経つにつれ、自分で捕まえ、大事にお世話をするようになっていきました。最後には「また会おうね!」と言いながら元の場所に返す姿がとても印象的でした。

午後は様々なプログラムを行い、たくさんのことを学び、感じることができました。雨の日の探検で霧が晴れた景色を見て「自然がきれいすぎる…」と話していたこと、川遊びでサンショウウオを見つけて嬉しかったこと、ナイトハイクでホタルの小さな光に感動したこと、野外料理で美味しいカレーを作ったたくさん食べたこと、クラフトで自分だけの作品を最後までこたわって作ったこと…。どれもとても楽しく行うことができました。

中でも最後の夜に行ったキャンプファイヤーは、最も思い出に残っています。グループごとにスタンツを考え、披露しました。スタンツを決める時には、お互いの意見がぶつかることもあり、なかなか1つまとまらずに大変なこともありました。しかし、いざ本番になると、みんなを楽しませようと頑張ったり、友だち



と協力したりする姿を見て、子どもたちの成長に感動しました。キャンプファイヤーの最後には、火を見ながらスモア※を食べました。見上げれば綺麗な星空が広がり、周りにはホタルが飛んできてくれました。みんなで楽しむことができ嬉し気持ちと、これが最後の夜だという寂しさで胸がいっぱいになりました。みんなの力で創り上げたキャンプファイヤーでした。

また毎日の生活の中では、掃除、食器洗い、洗濯などを自分たちで行いました。慣れないながらも頑張ると、「家事ってこんなに大変だったんだね」と家のありがたさを感じたり、ごはんを作ってくれる方たちに「ごちそうさまでした!」と大きな声で感謝を伝えたりしていました。

6日間で子どもたちはとても大きく成長しました。朝早く起きて、たくさん遊んで、ご飯を食べて、疲れて夜はぐっすり寝る。当たり前のように見えるこのような生活は、とてもありがたいことだと気付くことができました。このような機会が、これからも守られていてほしいと思います。子どもたちの貴重な6日間を共に過ごすことができ本当に良かったです。

(秋山 朋葉 パルムリーダー)

※焼いたマシュマロをチョコレートと一緒にクラッカーに挟んだお菓子



ビーグル・スカウト 50周年!

今年で50周年を迎えるビーグル・スカウト・スヌーピーが学童キャンプを支援してくださいました。



第31回チャリティーラン2024 開催

名古屋YMCAインターナショナルチャリティーランを開催します。本大会は障がい児支援を目的として行われ、今年で31年目を迎えます。名古屋YMCAでは、障がいのある子どもたちのための活動や夏のキャンプ、冬のスキー等のプログラムを実施しています。皆様からの支援金により多くの子どもたちが、これらのプログラムに参加でき、また、指導に関わるスタッフやボランティアの育成研修にも支援金がいわれています。

昨年は新型コロナウイルスの5類感染症移行により、自粛前の活気が戻ってきたように感じられました。引き続き感染対策や安全に配慮しながら、多くの方にご参加いただき、盛り上げていきたいと思えます。そして、大会主旨への理解と賛同が広がっていくよう努めます。

現在、ホームページよりWEB予約が始まっています。ぜひみなさん、ご家族やご友人と一緒に申し込みください！（名古屋YMCAチャリティーラン実行委員会）

日 程：2024年11月2日(土) 9時30分～

場 所：名城公園

★詳細は同封チラシをご覧ください



協賛・寄付のお願い

チャリティーランではランナーと同時に、スポンサー企業様及び個人様を募集しています。運営費の寄付や商品を協賛してくださる方は、名古屋YMCAまでご連絡いただければ幸いです。

寄付金 振込先

三菱UFJ銀行(普)
きよなみ支店(804) 1117970
公益財団法人名古屋YMCA

商品の 協賛

名古屋YMCA本館
TEL 052-757-3331
〒464-0848 名古屋市千種区春岡1丁目2番7号

総主事コラム

天然水

日和田高原キャンプ場の水は天然水。水源地はキャンプ場から2km離れた御岳山の中腹から湧き出る伏流水。苔に覆われた岩肌から噴き出す水を貯水槽に直接入れて、そこからパイプでキャンプ場まで標高差を利用して流しています。湧き水なので、動物の糞尿が混ざる心配もなく、夏でも冷たい清潔な水が24時間無料で供給されます。残念ながら、不思議な日本の制度では、飲料水として使用するには塩素による殺菌が必要なので、清潔で安全な天然水を一度キャンプ場の貯水槽に入れ、微量の塩素を混ぜて使用しなくてはなりません。それでもその水の美味しさは格別です。キャンプに来る子どもたちには、特別に秘密の話を教えてあげます。メインロッジの外にある水道だけは塩素を入れていない本物の天然水。パイプ

から分水した天然水を直接飲むことができます。当然子どもたちには大人気です。

水源地には、キャンプ場から少し離れた沢を1時間ほど登ると行く事ができます。誰も通らない自然のままの沢を、倒木を乗り越え、苔の生えた岩や浮石に足を取られないよう気を付けながら登っていきます。途中の深みでは泳ぐか迂回するかの選択をし、やんちゃ坊主には岩の上から飛び込むという冒険も与えられます。苦勞してたどり着いた水源地は、本物のジブリの世界。水温と気温との温度差から蒸気が立ち昇り、深緑の瑞々しい草木と岩場を流れる澄んだ水が幻想的な風景を創り出しています。標高3067mの御岳山が創り出す自然の恵みに勝るものではありません。本物の自然を知らずに自然を守るより、本物の自然に触れた子どもたちが地球の未来を拓くのだと信じています。

(中村 隆)

YMCA大会 開催

フィリピンバイYMCAとの交流

本大会は、会員の交流と研鑽を目的として年に1回開催します。2023年度の事業報告、会員として名古屋YMCAを長年支えていただいた方々の表彰を実施します。またフィリピンバイYMCAのティンティン総主事をゲストにお迎えし、フィリピンYMCAと名古屋YMCAとの関わりと歴史を知り、今後の交流と、「Vision2030」にある運動を広げる4つの柱のうちの1つである「Just World (公正な世界の実現のために)」をどのようなことに取り組んでいくのか、グループに分かれてディスカッションします。



日 程：2024年10月6日(日)13時30分～

場 所：KKRホテル名古屋

★詳細は同封チラシをご覧ください

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年6月21日～8月20日)

維持会員

(継続) 伊藤 暢浩 荒川 文門 秋重 殉 久保田 啓 寺本 英郎 川口 恵 林 敦子
磯部 徹 平野 実郎 板井 裕美 酒井 沙織 深谷 萌菜 梶尾 夏葵 山口 朋楓
橋本 啓 水谷 悟 池野 輝昭 神野 啓子 牛田賢一郎 三井 妙子 春日 裕忠
藤田 瑠美 橋爪 良和 橋爪 圭子

賛助会員

(継続) 中部日本放送株式会社 タイガー総業株式会社 日本特殊陶業株式会社 豊田通商株式会社
株式会社矢場とん 日研オフィスシステム株式会社 株式会社テツタニ 名鉄六合株式会社
株式会社マルワ 株式会社中島建築事務所 ホーユー株式会社 岡谷鋼機株式会社
敷島製パン株式会社 株式会社イズミック 他

寄付金・募金

(学童キャンプ支援) 野村 靖子 八木 武志 吉川 裕子 川本 龍資 相馬 静香 嶋崎 英子 橋本 啓
谷川 修 田中 万寿 杉浦 光子 加藤 明宏 西村 清
(青少年基金) 橋本 泰博 ワイズメンズクラブ中部
(かみさわ保育園10周年記念基金) ニシヤマ コウヘイ 嶋原奈々子

早天祈祷会

日時	9月3日(火) 7:45～8:30
会場	名古屋YMCA5F チャペル
奨励	大島 純男牧師

ワイズコーナー 9月例会の予定

名古屋	9月10日(火) 19:00～	卓話 「写真の役割」 講師 京都トゥービークラブ 山口真一氏	名古屋YMCA
名古屋東海	9月12日(木) 18:45～	卓話 テーマ「思考習慣の罫」 講師 ひらめき研究所 高澤代表取締役	ラ・スース アン
名古屋 グランパス	9月11日(水) ・25日(水) 19:00～	未定	ZOOM

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育園 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

YMCA News

10

日韓ユースセミナー

隣の国にできた友だち

ふるるんリーダー 北岡 彩音



今年度も日韓ユースセミナーが開催されました。ソウルYMCAと名古屋YMCAの交流は、新しい世代によって友好の絆を深めることを目的として、日韓国交正常化前の1963年より始まり、交互に訪問と受け入れ活動が続けてきました。今年度は8/19～8/23にソウルYMCAユースの皆さんが名古屋YMCAに来てくださり、5日間様々なプログラムを行いました。私は、8/19～8/21に名古屋YMCA日和田高原キャンプ場で行われたキャンプに参加しました。

1日目は、夕食の準備をしてソウルYMCAの皆さんを出迎えました。ドキドキの初めての会話も、手巻き寿司やたこ焼きなど美味しい日本食を囲んでとても盛り上がり、夕食後、名古屋YMCAの皆がキャンプソング「ね」を、ソウルYMCAの皆さんが「魚取り」「小動物園」という歌を互いに紹介し、一緒に歌いました。

2日目は、「相手のこと、自分のこと」というテーマで、数人ずつグループに分かれ、自分の好きなことや頑張っていること、将来の夢について話しました。また、相手の話を聞くことで、個人や互いの国の歴史や文化の理解を深め、認め合うきっかけになったと思います。



ます。その後、日本の自然を体験してもらうことを目的とし、枝や葉、石など使ったフォトフレームと全員の手形で色を付けた横断幕を作りました。協力してノコギリで板を切ったり、フォトフレームの裏に互いにサインをし合ったりしながら、個性豊かな作品たちが出来上がりました。午後は、日和田キャンプ場の水源地まで沢登りです。2時間以上の道のりも声を掛け合い登りきり、自然の恵みのありがたみや環境問題について考える機会となりました。夕食は、名古屋YMCAの皆が夏野菜カレーを、ソウルYMCAの皆さんがトッポッキ、プルコギ、チヂミを振る舞い、互いに感想を伝えながら、異なる食文化を楽しみました。夜にはキャンプファイヤーをしたり、星空を眺めて流れ星を探したり、韓国のお菓子やスイカを食べながら韓国の定番のゲームをしたりして、日和田キャンプ場での最後の夜を楽しみました。

この3日間を通して、互いの国の歴史や文化の違いに触れ、新たな気付きや学びを得ました。一方で、好きな音楽やアニメの話題で盛り上がったり、夜は部屋でカードゲームや折り紙を楽しみながらガールズトークに花を咲かせたりと、国境を越えても変わらない同世代との思い出を作ることでもできました。このセミナーで出会ったソウルYMCAの皆さんのことを、「元気になっているのかな」「また会いたいな」と考えることがあります。このように、一個人として互いを認め合い、対等な「友だち」になることが、未来のために私たちが今から出来ることであると強く実感するきっかけとなりました。このような機会を頂けたことにとても感謝しています。

日韓キッズワールドカップ in コリア



名古屋YMCAサッカークラスの子どもたちが、今年8月7日～11日の5日間、キッズワールドカップin 코리아に参加してきました！

成長した5日間

今回の大会には名古屋YMCA、東京YMCA混合チームでの参加となり初戦は皆慣れない環境に緊張しておりほとんど自分のプレーをすることができず、0-6の大差で負けてしまいました。その後の休憩時間に落ち込んでいるところを東京YMCAのお友だちがたくさん励ましてくれチームの雰囲気も良くなりました。その後の試合は東京YMCAのお友だちも一緒に作戦やポジションを考えたり、ディフェンスやシュート練習した

りしていく中で一つのチームとして戦うことができていました。その結果、大きいフィールドの中を一生懸命走る姿やボールに食らいつくプレー、3日目の試合ではシュートを決めるなど大きく成長することができました。

最後のバスでは一緒に戦った東京YMCAのお友だちと『来年また会おうね』とハイタッチして別れており、選手として技術面、精神面共に大きく成長した5日間になったように感じました。

(担当スタッフ 小島 陽)



子どもたちと韓国へ

今はスマホを覗けばなんでも知ることができる時代ですが、子どもたちにとって、実際に海外に行くことはやはり貴重な経験だと感じています。

現地に着くと話されているのは違う言語、知らない食べ物が目前にあり、周りは初めての人ばかり…。でも子どもたちは、即、今ある環境に順応し、^{ひととき}一時も休むことなく楽しいことを探していました。「韓国語でサッカーはなんていうの？」新しい言葉にも興味津々、

食事は偏食なく毎食モリモリ食べて、そのおかげか？毎日元気に走りまわり、サッカーを通じてできた仲間の輪に自ら入っていき…たった数日間でしたが大きく成長しました。

非日常のひとつひとつのことがらは刺激的で、常に考える機会を与えられ、行動を後押ししてくれたからだと思います。

韓国への旅が子どもたちの心に深く刻まれ、ずっと大切な思い出となることを願っています。

(担当スタッフ 清水 美佐子)

イベントのお知らせ

チャリティーゴルフ



本大会は次の3つの柱を支援目的として行います。

- ① 貧困児童対策として毎年行われる『学童キャンプ』
- ② 東日本大震災を忘れない ③ 留学生支援のために

参加者の皆様に3つの主旨を理解していただくよう努めるとともに、YMCAに関わる者同士、交流を深める場となれば幸いです。ぜひ同封チラシ掲載のフォームよりお申込みください。

日 時：2024年11月21日(木)8:30～

場 所：鈴鹿カンツリークラブ

対 象：YMCA会員および紹介者

大会商品として協賛品の募集も行っております。

クリスマスキャロル



今年も恒例のクリスマスキャロルを開催します。昨年度は昼の時間帯での開催、そしてお子様の参加を募り行われました。20年以上続く伝統の中で初めての試みで、委員会も不安とワクワクの気持ちでしたが、とても素晴らしい時間となりました。2024年度も引き続き子どもたちの楽しい歌声、そして本格的な四部合唱のキャロルを届けます。ぜひ一緒に歌いましょう！

日 時：2024年12月7日(土)14:30～15:10

場 所：名古屋駅タワーズガーデン

対 象：年中児～成人

詳細は同封のチラシをチェック！

総主事コラム

夜の虹 昼の星

開校7年目を迎えた名古屋YMCA日本語学院では、現在104名の学生が日本語を学んでいます。多国籍な学生はひとり一人その背景や学習目的が違いますが、夢の実現のために、慣れない外国で違う言語の習得に励んでいます。先日、学校の文化祭が行われましたが、彼らの共通言語は日本語。微妙な発音と文法が時折混ざりますが、学んだ日本語で上手にコミュニケーションをとっています。特技の発表場面では、得意の楽器を演奏したり、民族衣装に身を包み母国の踊りを披露したりする姿はとても誇らしげです。文化祭のテーマは“夜の虹、昼の星”「夜に虹は見えますか？ 昼に星は見えますか？」と語りかける司会者に対して、「見えません」と応える学生たち。「今は見えないけれども、確かに存在するものがあります。」

という結びには、夢を必ず実現させるのだという強い意志が感じられます。

一般に東アジアの国々の失業率は世界と比べて低いと言われていますが、隣国である韓国も中国も台湾も大企業への就職は超競争社会。入社後も厳しい競争が続きます。失業率が低いのは、小さな自営業を営んだり、就職を諦め進学や留学を選んだり、NEET (Not in Education, Employment, or Training) が増加しており失業者にかウントされないという厳しい現実もあります。大卒者の就職率もどんどん下降し、希望の会社に就職できず日本の大学で学び直し、日本の会社に就職したい留学生も確実に増えています。留学生の夢の実現を応援しながらも、内向き志向と言われる日本の若者がもっと世界に目を向けて、「Shohei」や「Mitoma」のように活躍することを願っています。

(中村 隆)

秋の国際協力募金

今年は1月1日に発生した能登半島地震に始まり、先日9月21日には輪島市を中心に発生した豪雨災害が発生しました。年始からの災害支援活動に落ち着きが見え始めた矢先の豪雨災害は、報道を通じて現地の様子を見聞きする私たちにも大きな衝撃を与えました。被災された方々の心と身体に与える痛みを思い、神様の導きを願うばかりです。

名古屋YMCAでは、能登半島の災害支援のために、また、海外における紛争の中で被害を受ける子供たちのために、2024年国際協力募金を実施いたします。YMCAの国際協力募金にご協力いただき、困難の中で過ごしている方々への支援にご協力をお願いします。

(担当スタッフ 万福寺 昭美)



募金期間：2024年10月～11月

募金口座：三菱UFJ銀行 きよなみ支店(804)

普通 1117999

ザイ)ナゴヤワイエムシーエー

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年8月21日～9月20日)

維持会員

(継続) 船戸 章 水谷 克己 水谷 里美 木村眞智子 荒川 恭次 荒川 恒子 加藤 満
山田 英次 相馬 静香 小尾 雅彦 小尾 昌代 近藤よし恵 榎田 勝利

寄付金・募金

(学童キャンプ支援) 川本 龍資 荒川 恭次 中條 秀和 坂口 公美 林 敦子 渡辺 真悟 藤田 瑠美
多湖みずほ 藤若 雪絵 堀 里美
(かみさわ保育園10周年記念基金) 平井 真希 渡邊 徹朗 宇佐美結音 磯部 徹 前田 果奈 千葉 萌子
渡辺 孝 浅野 猛雄 浅野美也子 三田村知里
(チャリティーラン) 義井 裕子 尾國 尚二 三木まゆみ 辻 恵子 福島 照 名古屋中ロータリークラブ
(青少年基金) 橋本 泰博

早天祈祷会

日時	10月1日(火) 7:45～8:30
会場	名古屋YMCA5F
奨励	熱田教会 小林 光牧師

名古屋	10月 8日(火) 19:00～	卓話「保険の話」 山川潔ワイズ	名古屋YMCA
名古屋東海	10月10日(木) 18:45～	卓話「タイトル未定」 講師：鈴木 将悟氏	ラ・スース アン
名古屋 グランパス	10月 9日(水) 19:00～	未定	ZOOM

ワイズコーナー 10月例会の予定

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんという幸せ なんという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

能登半島豪雨水害支援

支援概要 10月12日~14日、石川県輪島市町野町へ5名のスタッフ・ユースリーダーを派遣しました。町野町は大地震と豪雨水害の二重被災地であり、6月末までYMCAが支援活動を行っていた場所です。大震災から半年以上経過した現在でも、ゆがんだ電柱や信号機、倒壊した建物等が多数残っています。さらには山崩れの跡、土砂が流れ込んだ田畑、道の至る所で流木が積み上がり、それらの被害が、地震と水害のどちらによるものか定かでない状況です。派遣スタッフは輪島市立東陽中学校のボランティアセンターに登録後、現地の方々の指示の元、主に、家具の運び出しや清掃、土砂・流木等の撤去作業を行いました。悲惨な街並みと再び避難生活を余儀なくされている様子を、YMCA関係者一同、心を痛めております。被災地の皆様に、安らげる風景や生活が少しでも早く訪れるよう願います。（担当スタッフ 瀬川 景子）

■ 支援活動に参加したリーダーより

みんなで繋ぐ

加藤 愛唯(くらりんリーダー)



私たちが支援に向かったのは、土砂災害の被害を受けた個人宅でした。家主はボランティア依頼を申し込むことに勇気が必要だったと話されていました。ご自身が被災者であるにも関わらず、もっとひどい被害に遭われた方がいると思われてのこと。そんな心優しい方の力になりたいと思いましたが、自分のできることの少なさに無力感でいっぱいになりました。しかし帰り際、中村総主事が「次の方が来てくださいますから」と声をかけているのを聞いて、はっとさせられました。この言葉は、被災された方へ向けてのものでしたが、私が抱いていた後ろ髪をひかれる思いも同時に救ってくれました。ボランティアは小さな積み重ねであり、みんなでバトンを繋ぐリレーのようであると実感しました。

活動できたのは一部ですが、一人ひとりができることをしていると、人との繋がりに気づくことができました。最後に、私たちボランティアを温かく迎えてくださった町野町の皆さん、本当にありがとうございました。

復興を願って

鈴木 翔子(スノーピーリーダー)



今回の能登災害支援は私にとっては初めての災害ボランティア経験でした。ニュース等で能登の様子を見たことはありましたが、直接目にする全壊の家や土砂崩れの跡の様子は衝撃的であり、地震と水害の二重被害は想像以上のものであることを知りました。

活動できたのは1日半と短い時間でしたが、最後に家主の方に涙ながら感謝していただいた時、ボランティアに来てよかったと心から思いました。自分1人の力は小さいですが、他のボランティアの方々と共に、被災された皆様が前を向くきっかけになるような活動をできたことを嬉しく思います。

ボランティア不足の報道を目にしていたのですが、今回の活動を通して、被災地はまだ人手を必要としていることを実感しました。私が能登被害状況を理解できていなかったように、現状について知らない方が多くいると思います。今後もボランティアを続けるとともに、この活動での経験を周囲に伝え、1人でも多くの方が能登復興に向けて支援を行うことを願っています。

■ 名古屋YMCA現地派遣スケジュール

期間	支援場所(支援内容)	派遣者
1月25日 ～31日	金沢市1.5次避難所 (避難所運営サポート)	スタッフ(福田)
2月 4日 ～10日	金沢市1.5次避難所 (避難所運営サポート)	スタッフ(小島)
10月 8日 ～ 9日	輪島市門前町 (ゴミ仕分け・家財整理他)	スタッフ(遠藤)
10月12日 ～14日	輪島市町野町 (泥掻き・家財整理他)	スタッフ(中村・瀬川・小島) ユースリーダー(鈴木・加藤)



家主の方(右)のお話を聞き、大切なものと処分するものを選別し作業を進めました



募金活動を再開しました！

町野町の方々の、助けを必要としている声がたくさん届いています。ぜひご協力お願いいたします。

銀行振込 三菱 UFJ 銀行 きよなみ支店 (804)
普通口座 口座番号：1117999
公益財団法人名古屋 YMCA
ザイ) ナゴヤイムシー-

郵貯振替 日本 YMCA 同盟災害支援募金口
口座番号：00130-4-696497
※「2024 能登豪雨」とご記載ください

窓口 YMCA の各拠点で受付可能です

総主事コラム

寄り添う1

令和6年1月1日16時10分頃、石川県能登地方を震源地とする最大深度7の地震が発生し、能登半島に大きな被害を及ぼしました。調べてみると2020年頃から地震が頻発しており予兆があったようです。震災からの復旧も十分でない9月21日、同じ場所で線状降水帯による大規模な水害が発生しました。地震でひび割れた山肌は崩壊し、多くの土砂災害が起きました。全国のYMCAでは震災直後からできる限りの支援を続け、特に輪島市町野町東陽中学校の避難所運営を担い、支援を続けてまいりました。その最大の協力者であった地元唯一の「もとやスーパー」も今回の水害により大きな被害を受けました。

ここまでの話は情報として知っていましたが、私自身がようやく現地に行くことが許され、現実を改めて知ることとなりました。名古屋から金沢まで車で3時間、金

沢から輪島までは2時間。9月10日に全線対面通行が可能となった「のと里山海道」ですが、震災による被害が大きく震災後9か月が経ったのに至る所が崩壊しています。迂闊にスピードを出すと補修した段差で車がジャンプしてしまう状況です。ようやく到着した輪島市内は崩壊した家屋が当然のように放置され、宿泊したホテルは未だに水道が使えずトイレも仮設です。焼失した朝市周辺に立つと今も焼けた匂いを感じます。人が来ないコンビニは16時終了。そこには報道通り取り残された町が存在しましたが、営業を再開した一部の店舗からは復興に向かう人々の新しい息吹を感じることができたのも事実です。被害の大きかった町から離れ、環境の整った場所に一時避難すべきであるという正論よりも、それでも地元に残り復興したいという願いに強く共感する、すてきな風景が確かに存在しました。

(中村 隆)

第11回 名古屋YMCA大会 2024

Just World 公正な世界の実現のために

名古屋YMCA大会実行委員長 荒川 恭次



今回のYMCA大会のテーマは「YMCA Vision2030」の中の「公正な世界の実現のために」に焦点を当てました。基調講演はフィリピンアルバイYMCA総主事のTintinさん、同行者としてフィリピンYMCA同盟総主事オランドさん、マニラYMCAのシエラさんをお迎えしてKKRホテル名古屋で開催されました。

YMCA職員(財団・学法)、ユースリーダー、インターアクト、会員(ワイズメン他)100名若参加の中、開会にあたり日本基督教団東海教会 和田芳子牧師による開会礼拝の後、第1部のリーダー認証式では明日のプログラム活動を担うユースボランティア認証を受けたリーダー6人が紹介され認証状が中村総主事より授与されました。永年会員表彰は60年表彰の吉田一誠さんを筆頭に多数の永年会員へ川本理事長より表彰状が手渡されました。2023-24年度YMCA活動報告では中村総主事より2023年度の会計決算報告等名古屋YMCAの現況報告があり、ユースリーダーからは活動状況、ワイズメンズクラブからは名古屋YMCAをサポートするワイズメンズクラブの活動が紹介されました。

そして今回の基調講演はアルバイYMCA Tintin総主事の語りと、瀬川担当の翻訳で進められました。1976年8月17日ミンダナオ島で発生した地震と津波の被害を支援するため1977年から始まった名古屋YMCAとフィリピンとのパートナーシップは40年以上続いています。アルバイYMCAとの関係は2006年の台風被害支援を受け2008年9月から始まったHEARTキャンプ



以来です。今ではワークキャンプからフレンドシップキャンプへ移行し「フィリピン・日本フレンドシップ・キャンプ」へ受け継がれ多数の若者達が参加しています。

今回の基調講演にあたり、Tintinさんは過去の情報を非常にご苦労されて収集し纏められました。語られた内容は皆さんの記憶からは薄まってしまったと思いますが、貴重な記録ですのでどこかに保存し、再度読み返していただけたらと思います。

そして、第2部で計画した基調講演を受けてのグループディスカッション(テーブル毎意見交換)では、「身の回りで社会課題だと感じること」「名古屋YMCAが事業や会員活動を通じて何ができるか」「これからこういったプログラムが展開できるか」を話し合っていたのですが、時間の都合で叶いませんでした。ここで今一度考えていただけたらと思います。最後にTintinさんの締めの言葉を記して終わります。

「名古屋YMCAの皆さん、アルバイYMCAとフィリピンへの継続的な取り組み、そして何度も国境を越えて手を差し伸べてくださったことに感謝します。そして、この活動やフレンドシップキャンプに参加し続けているすべての若者たちへ、あなたたちが思いやり、連帯、希望の伝統を受け継いでいることを知ってください。皆さんは、分裂よりも団結を、紛争よりも平和を、不平等よりも公正さを、憎しみよりも愛を大切にする世界の担い手なのです。」



YMCA / YWCA 合同祈禱週 2024

YMCA / YWCA 合同祈禱週2024を開催します。今年のテーマは「自然現象に学び、信仰をもって歩む ～水・地・火・風をテーマに～」。

第1部は日本同盟基督教団シティリジョイスチャーチの榎原康成牧師をお招きし、礼拝を行います。また、今年は名古屋YMCAがフィリピンフレンドシップワークキャンプ、名古屋YWCAが日韓ユースカンファレンスを行いました。第2部では、各ユースがその海外交流について報告します。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

(担当スタッフ 清水 美佐子)

日 時：11月16日(土)10：00～11：30
 会 場：名古屋YWCA2階+ZOOM
 参加費：無料
 申 込：info@nagoyaymca.org／052-831-6968
 11月14日(木)締切

宝くじからのテントのおくりもの

今年も宝くじからテントの寄付をいただきました。宿泊用テントは夏休みのキャンプで大活躍！テント設営に苦労はしましたが、一生懸命立てた広いテントで過ごす時間は特別な時間だったようです。子どもたちとリーダーの絆も深まったテントの時間となりました。また、新しいテントの中がどうなっているのか気になって遊びに来たお友だちに、窓がこんなところについているんだよ！と自慢げに紹介してくれていました。今年度もご支援いただきありがとうございます。

(担当スタッフ 遠藤 恵美子)



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年8月21日～10月20日)

維持会員

(継続) 吉川 裕子 近藤 保彦 浅野 猛雄 中根 和隆 山岸 節子 竹本 未佳 鈴木 賢治
 藤崎 理奈 渡辺 孝

寄付金・募金

(かみさわ保育園10周年記念基金) 三田村知里 真城 壮司 衣笠 未来 浅野 猛雄 山本 和子 大東 明代

(日和田高原キャンプ場リニューアルプロジェクト) 小林 宏之 日比野隆行

(チャリティーラン) 古庄電機産業株式会社 名古屋ロードサービス株式会社 近藤産興株式会社 辻 恵子
 福島 照 柴田洋治郎 名古屋大須ロータリークラブ 小澤金属工業株式会社 義井 順之
 義井 誠之 義井 裕子 公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知 中部日本放送株式
 会社 名古屋ワイズメンズクラブ 東海ワイズメンズクラブ 名古屋グランパスワイズメンズクラブ

(国際協力基金) 川合 英治

(青少年基金) 橋本 泰博

早天祈禱会

日時 11月5日(火)
 7:45～8:30
 会場 名古屋中央教会
 奨励 名古屋中央教会
 竹内款一牧師

ワイズコーナー 11月例会の予定

名古屋	11月12日(火) 19:00～	卓話「YMCA 日本語学院について」 名古屋 YMCA 日本語学院 犬飼 英男 主任教諭	名古屋YMCA
名古屋東海	11月14日(木) 18:45～	卓話「にぎわい作りへの官民への取り組み」 講師 白鳥 茂人氏	ラ・スース アン
名古屋 グランパス	11月13日(水) 19:00～	卓話 荒川 恭次氏	ZOOM

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
 YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
 南山ファミリーYMCA 052-831-6968
 南山幼稚園 052-831-8271
 神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
 YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
 名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
 発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
 かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

YMCA News

12

2024年12月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

プレゼントのお返しは？

日本基督教団 東海教会 和田 芳子



天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」
(ルカによる福音書2章10～11節)

天使が夜、寝ないで羊の番をしていた羊飼いに告げた通り、今、私たちにも「大きな喜び」が与えられています。それは、イエスさまという神さまからのプレゼントです。プレゼントをもらったら、プレゼントのお返しをしなければ、と思います。

どんなお返しをしようかな、と考えます。どんなお返しをしたら喜んでもらえるかな、と思います。

では、イエスさまというプレゼントを与えて下さった神さまには、どのようなお返しをしたらよいのでしょうか。それは、ひとりひとりの心のなかにイエスさまを受け取ることです。そしてともにいてくださる方としてイエスさまを迎えることです。それ以外には何もお返しはいらないのです。けれども神さまには、私たちにもうひとつ願っておられることがあります。それは「民全体に与えられる喜び」が、すべての人に行き渡り、すべての人とわかち合うということです。

それは、何か大それたことを行うことによるのではなく、イエスさまのお誕生が人々のなかで目立たない「羊飼いに告げられ、羊飼いが人々に伝えて行ったように、身近なところからすすめていくことによるのです。

そのことを名古屋YMCAの活動を通して行うために名古屋YMCAでは、毎年皆さまにクリスマス献金をお願いしています。

その目的のひとつは、「青少年育成」です。名古屋YMCA

の自慢はなんといってもキャンプ!そのキャンプを、置かれた環境に関係なく多くの子どもたちに体験してもらうために活用します。そして子どもたちの体験を最高に楽しいものにするために、子どもたちを支えるユースボランティアリーダーを育成していきます。

もうひとつは「国際協力」です。これからの社会をつくっていく若者たちが、国を越えて集い、お互いに顔を合わせて語り合い、同じ体験をしていくことをすすめます。そして日本に来た留学生たちに、生活の不安なく学んでもらえるように支えていきます。これらのことがこれからの平和へとつながっていきます。

そして、「地域交流」です。小さな子どもから大人まで一緒に「クリスマスキャロル」を歌って、クリスマスの喜びをたくさんの方に伝えます。また、名古屋の地でさまざまな問題に取り組み、活動する人たちと協働していき、名古屋YMCAの目指すことを様々な形で発信していきます。このような地道な活動を通して、名古屋YMCAから地域へイエスさまのお誕生の喜びが広がり、人々が幸せになることが広がっていきます。

名古屋YMCAは、皆さんからいただくクリスマス献金を、これらのことに毎年かわらず、使わせていただいています。長く続けて行くことはすばらしいことです。なにしろ、クリスマスこそが長い長い間、お祝いされ続けてきて、これからも毎年、お祝いしていくのですから。



イベント報告

第31回 名古屋YMCA インターナショナルチャリティーラン

11月2日(土)に第31回チャリティーランが今年も名城公園にて開催されました。31回目を迎えた本大会ですが、長い歴史の中でも雨天での開催は過去に1回のみ。そして今回が2回目となってしまいました。そんな悪天候にも関わらずランナーとボランティアや応援者等総勢1000名近くの方々にご参加いただきました。個人レースでは昨年惜しくもメダルを逃した子どもが今年は見事な走りでメダルを獲得し満面の笑みで表彰されていました。またチームレースでは仲間と共に走り、笑顔でタスキリレーされ、ゴールではみんなでアンカーを待ち、互いの頑張りを称え合っていました。



今大会では皆様のご協力により、300万円近くの支援金が寄せられました。レースへの参加費の他、多くの企業や個人の方々から大会運営のための支援金や物品をご寄付いただきました。本当にありがとうございました。

天候には恵まれなかった本大会ですが、どんな時でも支えてくださるボランティアのみなさんと、笑顔あふれるランナーはまさに「楽しく走る・応援する」本大会の趣旨を実感するものとなりました。これからも助けを必要とする人に寄り添い走り続けていきたいと思っています。
(担当スタッフ 谷口 みはる)

第31回 名古屋YMCA チャリティーゴルフ

11月21日(木)、三重県の鈴鹿カンツリークラブにて第31回名古屋YMCAチャリティーゴルフ2024が開催されました。遠方からのご参加を含め、総勢96名のご参加をいただきました。また、多くの協賛品の提供もいただきました。参加者の皆様、および実行委員長をお支えいただいた実行委員会の皆様には心より感謝申し上げます。

さて、前日は気温が低く天候を心配しましたが、当日は晴天に恵まれ、参加者の皆様には心地よい気温の中でプレーいただけたのではないのでしょうか。参加いただいた皆様には、参加費+ワンオンチャレンジ寄付を含め、支援金総額288,950円をいただきました。誠にありがとうございました。今回のチャリティーの目



的である①留学生支援②東日本大震災を覚えて③貧困児童対策―学童キャンプ支援にご貢献いただき、感謝しかありません。

来年以降もぜひご参加いただけると幸いです。

(実行委員長 中根 和隆)

南山ハーベストクラブ 秋の収穫祭

南山ハーベストクラブの秋のプログラムが大体終了しました。今年は天候に恵まれ中止になったプログラムはひとつもなく、秋空の下、参加していただいた皆様に楽しんで頂きました。

私たちハーベストクラブの目指すところは、YMCAへのサービスや地域社会への奉仕、YMCAにつながる会員同士の仲間意識の向上です。YMCAサービスとしては、南山幼稚園、YMCAかみさわ保育園、かりやYMCA保育園の遠足、発達サポートYMCAつるさとの家族会、野外活動フラワーの例会、名古屋YMCA日本



かりや保育園遠足

語学院への収穫物提供、などでした。地域活動としては、ハーベストクラブのメイン行事のフェローシップとして昭和区の名広愛児園、南山寮の児童施設招待のプログラムで子どもたちは芋ほりをしたり、ピザを焼いたり昼食を取ったり、一日楽しい時をもってくれました。また障がい者施設の「希望の家」「愛実の会」の方々も、車いすから降り、芋ほりをしました。その他会員の関係する2団体からも参加があり、この秋は約350名以上の方々に農園で楽しんで頂きました。指導したり、お世話したりしながら、子ども達や参加者の笑顔を見ることが我々メンバーの一番の楽しみです。異常な暑さの最中の水やり、草取りの苦労も楽しみに変わる一時でした。

秋のプログラムが一段落しても、春の玉ねぎ、ジャガイモの植え付けなどが待っており、休む暇はありませんが、皆で作業することも楽しみの一つです。ご興味のある方ぜひ一緒にしましょう。

(南山ハーベストクラブ 荒川 文門)

南山ハーベストクラブ 連絡先
nanzanharvest@gmail.com

総主事コラム

寄り添う2

(能登半島災害支援)

輪島市内から水害被害の大きかった町野町まで閉ざされた道を迂回しながら車で1時間。道中は崩壊した山と家屋が続きます。町野町の入ると崩壊した家屋に潰された車が未だに放置されており震災の被害の大きさを感じます。そこに大量の土砂が流れ込んだ痛手は想像を絶するものだとしか表現できません。私たちは現地ボランティアセンターと協力し、土砂が流れ込んだお家の清掃活動に向かいました。土間に流れ込んだ土砂を洗い出し、使えなくなった家具を廃棄します。裏を流れる用水路に流れ込んだ土砂を土嚢に詰めて運び出し、雨が降っても2次災害が起きないように備えます。すべてはお家の方と相談し、要望をお聞きしながら進めていきます。今回訪れたお家は介護の必要なお父さんと83歳のお母さん。

綺麗に整えられたお庭に向かい、お茶会を開くのが楽しみだったようですが、すべて土砂に埋もれてしまいました。ボランティアセンターに寄せられた依頼は危険な裏の排水溝の泥出しでしたが、実際訪問してお聞きすると色々なニーズがあることがわかります。本当は、大規模な排水溝は行政が重機で行い、住居内をボランティアが担当すべきでしょうが、手が足りていないの是一目瞭然です。泥が流入し使えなくなったトイレの浄化槽の修理に来られた業者さんも同じ町の被害者で、2階建てのお家の仕事場だった1階部分が浸水し、車も2台流されたが唯一残された道具を積んだ1台の軽ワゴンで修理に回られています。実は既に引退し、働く必要はないけれどもこの町を見捨てて避難はできないと一気にお話をされました。1人のボランティアができる作業は少ないけれど、同じ空間で、お話を伺うことの大切さを改めて感じました。

(中村 隆)

移転のお知らせ ～発達サポートYMCAつるさとからかみさわへ～

発達サポートYMCAつるさは、活動スペースの課題克服や共生社会形成に向けたインクルーシブ教育の強化のため、2025年1月に事業所を神沢ファミリーYMCA3階部分へ移転することとなりました。

新しい施設は、広い運動スペースや支援スペースを利用し集団療育や個人課題に取り組むことや、野外活動における様々な体験や経験を通して、子どもたちの「勇気をもって挑戦する姿勢」「感謝、思いやりの心」「自分を表現する力」を育てていきたいと思ひます。

また併設する YMCAかみさわ保育園との交流プログラムを積極的に行います。神沢ファミリーYMCAとYMCAかみさわ保育園が協働して運営する新しい施設



は、子どもたちがともに遊び、ともに学び、ともに成長していく場となることを願っています。

(担当スタッフ 平 真輝)

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年10月21日～11月20日)

維持会員

(継続) 種村 芳枝 前田 敏江 阿部 一雄 坂口 功祐 信田伊知郎 下村 明子 高田 士嗣
服部 庄三 早川 政人 松原 行謙 中條 秀和 松本 勝 松本 淳子 藤若 雪絵
林 左希也 六車 康廣 野村 靖子 尾関めぐみ 三枝 隆 遠藤 通寛 渡邊 徹朗
杉浦 光子 川瀬 恒史 谷川 修 高橋 榮一 中村 隆

寄付金・募金

(国際協力基金) 牧野 和博 東田 美保 松浦 剛 徐 彦誠 北村 称子 まるも小友合 山田 蘭
山田 樹 大東 世奈 宮川 詩織 宮川 瑞穂 原田 和実 村瀬 慶一 村瀬 未来
奥村 優樹 鶴野 晃成 桃井 環季 梅谷 なな 大嶋 研慍 大嶋 怜佳 雨宮 依里
雨宮 悠透 松尾 恭佑

(かみさわ保育園10周年記念基金) 宮川 仁絵 大嶋 康生 神野 啓子 牧野 和博 野村 靖子 北村 称子
中村 隆 義井 裕子

(チャリティーラン) 山内 栞 藤田螺子工業株式会社 日立建機日本株式会社 游神会 株式会社三菱UFJ銀行
名鉄六合株式会社 名古屋栄ロータリークラブ 株式会社名エングループ本社

(学童キャンプ) 藤田 瑠美 西日本区大会実行委員

(青少年基金) 加藤 明宏

(一般寄付) 山口 幸子 松浦 剛

早天祈祷会

日時 12月3日(火)
7:45～8:30

会場 名古屋YMCA

奨励 愛知守山教会
狩野 進之佑師

ワイズコーナー 12月例会の予定

名古屋	12月14日(土) 17:30～20:30	クリスマス礼拝	名古屋ガーデンパレス
名古屋東海	12月15日(土) 時間未定	クリスマス例会	ラ・スースアン
名古屋 グランパス	12月14日(土) 時間未定	クリスマス例会	ラ・スースアン

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

迎春

久保田 関山 書

夢見人

公益財団法人名古屋YMCA理事長 川本龍資

謹んで新年のお慶びを申し上げます。YMCAを愛するみなさまの旧年中のお支えに心からの感謝を申し上げますと共に、本年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

世界のYMCAが同じ方向に歩むための世界YMCA「VISION2030」の行動計画を取り込んだ名古屋YMCA「MAP2030」の二年目を迎えた二〇二五年の幕開けとなりました。幼児保育事業、学童保育事業、学童発達支援事業、青少年事業、グローバル事業に携わる教職員のみなさま、地域ボランティア活動に携わるユースボランティアリーダー・シニアボランティアのみなさま、そしてこの事業・活動に大切なお子さまをYMCAに送り出して下さっている保護者のみなさまのお力添えにより、現在名古屋YMCAは順調な業績で推移しています。

更にブラッシュアップし、地域とみなさまに有益なYMCAであり続けるために、新年に当たり一緒に夢を見ていただきました。一つご提案申し上げます。

「二〇三〇年名古屋YMCAのあるべき姿」をそれぞれの立場で、それぞれの目線で思い描いて欲しいのです。「こんなYMCAになって欲しい」「YMCAにはこれが必須だ!」などなど……。

みなさまの「あるべき姿」を「集約し」「青写真」ができれば、それに向かってそれぞれがゴールを目指す。やがて、五年前に見た「夢」が「現実」となるのです!

”夢を見よう あなたと生きるこの道は

約束の未来へ続いている“

(ゴスペルソング「夢見人」の一節)



1995年1月号 巻頭『後にいる者が先になる』野村秋博氏



1995年2月号 巻頭『春よ来い』

■ ボランティア・アソシエーションとして

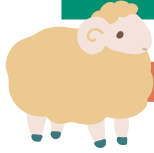
約180年前の1844年、ロンドンで誕生した世界最初のYMCAは、12人の青年ボランティアの祈りから組織されました。1880年、日本で最初に創設された東京YMCAもボランティアの熱い祈りから誕生しました。1959年、伊勢湾台風が愛知・三重を中心に猛威を振るい甚大な被害を及ぼしました。その時も全国のYMCAは協力し、多くの救済・支援活動を行いました。「ボランティア元年」と呼ばれる遙か以前からYMCAはボランティアの働きによって運営されてきました。ボランティアには次の4つの原則があるとされています。①自主性・自発性②社会性・連帯性③無償性・無給性④先駆性・創造性、私たちは社会の課題に対して自発的に関わり、社会を良くしていくために行動する団体です。今の名古屋YMCAには多くのユースボランティアや中高生ボランティア(インターアクトクラブ)が自発的に「誰かのために」活動をしています。シニアボランティアも思いを一つに元気に活動しています。私たちは、創設時の熱い思いや困難な時に為すべき働きを覚えながら、これからも歩み続けたいと願います。

■ 復刻版に思いを寄せて

30年前の1995年1月17日5時46分、淡路島北部を震源地としたマグネチュード7.3の地震が発生し、震源地に近い神戸市を中心に甚大な被害を受けました。神戸YMCAも大きな被害を受けましたが、すぐに災害対策本部を立ち上げ、全国のYMCAの仲間と共に被災者の支援と被災地の復興のために尽力しました。その時に献身的に奉仕したのが、「困っている人たちを何とかしたい」という思いを持った全国のボランティアの人たちでした。今までボランティアの概念が低かった日本において、この1年間で137万人のボランティアの人たちが活動を行ったことから1995年を「ボランティア元年」と呼ぶようになりました。その後、災害が頻繁に起こる日本においてボランティアの働きは行政を補完する働きとして捉えられNPO法人が設立されるきっかけとなりました。昨年1月に発生した能登半島地震においても多くのボランティアが活動を継続しています。

学校法人 名古屋YMCA学園 理事長
公益財団法人 名古屋YMCA 総主事 中村 隆

子どもたちのクリスマス



こひつじ保育園

クリスマスおめでとう

絵本「いのり」の曲を聞き、静かな気持ちで始まったクリスマス会。さんびか「アドベントクランツに」に合わせて4つのクランツに灯りがともっていくのを、目を輝かせながら見つめる子どもたちの姿がありました。礼拝の中では、アドベントの日々で歌ってきた♪おほしがひかるを身振り付きで歌い、絵本を通して、園長先生からクリスマスのお話も聞きました。1人ひとりが献金をお捧げした後、0歳児は壁飾りを貼り、1・2歳児は各年齢で制作したものを貼り合わせたツリーを



作って、「クリスマスおめでとう」とお祝い。その声を聞きつけてやってきたサンタさんにプレゼントをもらい、楽しい気持ちでクリスマス会を過ごすことができました。
(保育士 古賀 千尋)



南山幼稚園

クリスマスの日々

クリスマスを楽しみに待つアドベント、クランツに灯りが増えていく月曜日には、朝の挨拶を交わしたすぐ後に、「今日ろうそく2本つくよね!」と嬉しそうな子ども達の姿が見られました。南山幼稚園では毎年、保護者の方と共にクリスマス礼拝を守っています。そして、聖劇を通してイエスさまの誕生をたくさんの方に伝える時をもちます。年長児は1人1役、年中児はお星さま、年少児は羊役を担い、幼稚園全体でイエスさまのお誕生をお祝いする思いを持って過ごします。役を決める時には一人ひとりの思いを尋ねてみました。「暗い夜の間も羊を守る優しい羊飼いに僕はなりたい。」



い。」「天使になって、踊りで喜びを伝えたい!」それぞれの思いを持って、当日の聖劇に向けて取り組みをしてきました。クリスマス当日には、保護者の方の見守りの中、一人ひとりが輝き、温かい時を過ごす事ができました。
(年長担任 小浦 佑真)



かりやYMCA保育園

感動溢れるクリスマス

12月14日(土)開園から3度目となるクリスマス会を行いました。今年度は縦割り保育をしている4歳児19名、5歳児3名でページェント(聖劇)に取り組みました。昨年3〜5歳児で取り組んだページェントに、新しい讃美歌や台詞が加わりました。最初は覚えることに不安な姿も見られましたが、「いい歌だね!」と皆で

共感し合う姿から始まりました。アドベント期間には、各自で台詞カードをこっそり読み練習したり、台詞のタイミングに戸惑う友だちに優しく教えてあげたりするなど、支え合う姿が見られるようになりました。当日はたくさんの保護者の皆様が温かく見守る中、とても良い緊張感で堂々と喜びをもってクリスマスの物語を届けることができました。

(保育士 桐原 りずむ)

ピンクシャツデー2025 告知

是非ご参加ください!!

ピンクシャツデーは、YMCAで毎年行っているいじめ反対運動です。

今年は「私らしく あなたらしく」をテーマとし、ひとりひとりが「私らしく」いきいきと、そして他者の「あなたらしさ」も尊重し認め合っていこう、という思いが込められています。

各拠点では、「ハートを広げよう!～自分の好きなところを書いてみてね～」というワークに取り組んでいただきます。折り紙を折ったりちぎったり、また自分の好きなことを書きこんだりし、模造紙に貼りつけみんなでハートを大きく広げていくというものです。それぞれが自分らしく折り紙で自分を表現し、それがひとつ、ふたつと集まることで、たくさんの人のその人

らしさが集まった大きなハートが出来上がります。

また昨年度に引き続き今年も学生リーダーたちが紙芝居を作成してくれているほか、InstagramやYoutube、FacebookなどのSNSでも活動やいじめ反対のメッセージを発信していきます。

是非チェックしていただき、皆様のご参加をお待ちしております!



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年10月21日～12月20日) ※クリスマス献金をいただいたみなさまは、次月号にてご紹介いたします。

維持会員

(新規) 堀尾 賢

(継続) 山本 徹 桐原りずむ 亀井 香奈 生田美沙華 渡邊 采 都築 正和 鈴木 誉三
山口 幸子 福田 忠徳 川本 龍資 川本 清美 永田 愛弓 田島 詳子 川本梨紗子

寄付金・募金

(クリスマスキャロル) 千年エンジニアリング 川本サービス株式会社

(かみさわ保育園10周年記念基金) 中村 美沙 飯沼 結愛 杉山 弘時 田口恭仁子 植田奈々絵 宇佐美三奈子
永治 真弓 石田喜美子 志賀 愛子 配藤 篤哉・尚也

(国際協力募金) 塩田 保 安藤 千尋

(チャリティーラン) 塩田 保 藤田螺子工業株式会社 中京総合警備保障株式会社

(一般寄付) 松浦 剛 山口 幸子

ワイズコーナー 1月例会の予定

名古屋	2025年1月14日(火) 19:00～	卓話「ミライタワー秘話」 講師：名古屋テレビ塔(株) 大澤 和宏社長	名古屋YMCA
名古屋東海	2025年1月9日(木) 18:45～	卓話 講師：三枝隆氏(名古屋YMCAスタッフ)	ラ・スースアン
名古屋 グランパス	2025年1月11日(土)	新年会	魚々美

早天祈祷会

1月の早天祈祷会はお休みです。

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育園 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

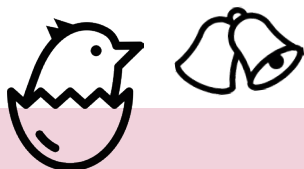
「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)

YMCA News

2・3

2024年2月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 渡邊 りいこ

名古屋YMCAピンクシャツデー2024テーマ



「違うっていいな」

ピンクシャツデー実行委員長 渡辺 真悟



テーマとなる聖書のことは

「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、全ての部分が共に喜ぶのです。」

(コリントの信徒への手紙1 12章26節)

みんなちがって、みんないい

人気バンドSEKAI NO OWARIの曲の一つにこんな歌詞があります。「いじめは正義だから悪をこらしめてるんだぞ」そんな風に子供に教えたのは僕らなんだよ」日本は同調圧力の強い社会だと言われます。周囲と違う考えや行動に対して、この歌詞ほど攻撃的ではなくても、否定的な目で見たり、無認識・無関心でいたりしがちです。そういう大人の背中を見て育った子どもたちは、いじめに走ったり、いじめの傍観者になったりしやすいのではないのでしょうか。

子どもたちは成長する中で、個性を育みながら社会性も身に着けていきます。社会性を身に着けるとはある意味「みんないっしょに」やることを増やしていく過程でもあります。しかしそれが苦手な子どもやちょっと違うことをする子どもがいじめの対象になりがちになってはいないのでしょうか。

幻の童謡詩人と言われる金子みすゞの代表作の一節に「みんなちがって、みんないい」という言葉があります。この言葉の様にお互いを認め合い違いを尊重しあうことが大事だと思います。「みんなちがって、みんないい」の心をもって私たち大人が子どもたちや周囲に対して、優しい心でお互いの違いを尊重し認める行動をとれる社会でありたいものです。

今年の取り組み

名古屋YMCAでは毎年、キッズプログラムに所属する子どもたちや同法人の幼稚園および日本語学院に通う生徒たち、スタッフとともに、いじめについて考え、話し合う時間を設けています。

今年はTシャツのイラストが描かれたシートを用意。「違うっていいな」のテーマに合わせ、各々が自分らしい色を塗ったり、特技や好きな物を描き、発表し合います。互いの違いに気づき、認め合うワークとなることを願っています。また子どもだけでなく、成人用のシートも作成します。いじめは子どもだけの問題ではありません。親子同士や幅広い世代の方々に取り組んでいただきたいと考えています。使用したシートは各拠点で掲示する予定ですので、ぜひご覧ください。

ユースボランティアリーダーの協力も欠かせません。現在リーダーたちが、ピンクシャツデーを紹介する紙芝居を制作してくれています。ただの恒例行事ではなく、日頃YMCAと直接関わりのない方や、初めて参加していただく方にも理解しやすい、広がりのある活動を目指します。



#YMCAPINK

でメッセージを広めよう！

毎年2月の最終水曜日、全国のYMCAで開催される『ピンクシャツデー』。「いじめや差別をなくそう」をテーマに、様々な取り組みを行っています。言葉や暴力ではなく、行動でいじめ反対の意思表示をしましょう！

名古屋YMCAでは、YouTubeやInstagram、Facebookを活用し、いじめ反対のメッセージを発信しています。みなさんも一緒に、SNSを通じてピンクシャツデーについてメッセージを広めてください！ピンク色のものを身につけて撮った写真を#YMCAPINKのハッシュタグと共に投稿してください！



動画見てくださーい！



白馬ダイナミック・中高生スキーキャンプ報告

昨年末、3泊4日の白馬ダイナミック・中高生スキーキャンプを、小学生33名、中高生13名、計46名の子どもたちと実施しました。

暖冬の影響で雪不足を心配していましたが、ほとんどのコースが滑走可能で、子どもたちは様々なコースを経験することができました。また3日目には、天気が良かったためすべてのグループがゴンドラに乗り、山頂付近のきれいな景色を楽しみました。

夜の宿ではレクリエーションを楽しみました。小学生グループの部屋に中高生のお兄さん、お姉さんを招待して、ゲーム大会で使用するオリジナルかるたを一



緒に作りました。子どもたちは共同作業を通し、年齢差関係なく遊んだり、話したりしていました。スキーキャンプの魅力は技術の習得だけでなく、こうした出会いや分け隔てないコミュニケーション力が身につくところにあると感じました。そしてキャンプ後も、この友好が続くことを願っています。

ここ数年で中高生メンバーの参加人数が増え、幅広い年齢の子どもたちとキャンプを創ることができ、うれしく思います。今後もこの流れを継続していきたいです。
(担当スタッフ 小島 陽)

アフタースクールFun！ 卒業生インタビュー

名古屋YMCAが運営する学童保育アフタースクールFun！でも、卒業シーズンが近づいてきました。今回は小学6年生の西村夏向(にしむら かなた)くんがインタビューに答えてくれたので、紹介します。

Q.アフタースクールFun！で一番好きな遊びは？

A.ボール大戦争！

運動神経抜群！
そんな夏向くんに憧れて技を真似する男子たちがたくさんいます。

Q.アフタースクールFun！で一番楽しかった思い出は？

A.Fun！キャンプの食事

年に1・2回程キャンプを開催しています。お友だちと一緒に外で作って食べる料理は格別ですね。

Q.好きなリーダーは誰？

A.あじさいリーダー 優しくて面白かったから

Q.自分だったら何リーダーになりたい？

A.バナナリーダー 果物の中で一番好きだから

Q.中学生になったらやってみたいことは？

A.生徒会

夏向くんはリーダーシップがあり、いつもみんなを巻き込んで楽しく遊んでくれました。通っている小学校や学年、性別が違うお友だちにも優しく誘ったり、アドバイスしたりする姿はとても頼もしかったです。きっと中学校の生徒会で活躍できると思いますよ！卒業までの残りの時間、お友だちやリーダーたちと素敵な思い出を作ってください。いつか「バナナリーダー」として名古屋YMCAに来てくれるのを待っています。



西村 夏向くん

能登半島地震 被災地緊急支援募金のお願い

元旦の夕方、能登半島を突然襲ったM7.6の大地震は、石川県などに甚大な被害をもたらしました。阪神淡路、東日本、熊本などの大地震被害の生々しい記憶がまた甦った瞬間でした。真冬の北陸の寒さと、半島部での地震ゆえの救援・支援活動の困難さが加わって、被災者の方々は想像を絶する苦しみの中におられます。様々な団体や個人がそれぞれの基盤に立って支援を始めています。

現在名古屋YMCAでは、日本YMCA同盟の動きに連動して募金活動を展開しています。今後は募金を継続しつつ、現地での支援ボランティアのコーディネート

や子どもたちへの心のケアが始まります。それらの活動を支援するため、緊急支援募金にぜひご協力ください。
(担当スタッフ 坂本 清則)

第一次緊急支援募金 お振込み先

三菱UFJ銀行 きよなみ支店普通(117999)

公益財団法人名古屋YMCA

締切：3月31日(日)

※各YMCAの窓口でも受け付けております。

※詳細は同封のチラシをご確認ください。

緊急街頭募金を実施しました ご協力していただいた皆様に感謝申し上げます



1月20日(土) 栄ラシック前にて



1月21日(日) 金山駅にて

募金額 栄エリア：6,401円 金山エリア：44,465円 計 50,866円

総主事コラム

熱しやすく冷めやすい！

昨年の11月29日、鹿児島県の屋久島沖でアメリカ空軍のオスプレイが墜落し、乗員8名が死亡いたしました。12月7日、アメリカ軍は調査の結果、機体そのものに問題があるとして世界に配備しているすべてのオスプレイの飛行を停止したと発表しました。オスプレイは2016年沖縄名護市で大きな事故を起こし、その安全性が問われていたのにも関わらず飛行を継続し、現在日本に30機配備されています。このニュースに何人の人が関心を持ち、今も記憶しているのでしょうか。最も重要な局面をむかえているウクライナの戦況についての報道をほとんど見なくなりました。パレスチナのガザ地区では今も大

切な命が人の手によって奪われています。しかし、すべての出来事が新年に起きた能登半島地震のニュースによって忘れさられたようです。1月17日、阪神大震災から29年が経過しました。神戸の人たちはその時に受けた恩義を忘れずに能登で被災された方にお返しをしなければならぬと行動されています。震災の大きかった東日本や熊本の方も同様です。日本中にも同じ思いの方がたくさんいらっしゃいます。今回も震災からの復興には時間がかかると予測され、長期に渡る継続した支援が必要となるでしょう。私たちは一時の報道に惑わされず、必要とされる方に寄り添い続けられるように、冷めた頭で必要なことを見極め、熱い心で関わり続けたいと願います。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

(中村 隆)

ピアノ合同発表会のお知らせ

名古屋YMCA・南山ファミリーYMCA・神沢ファミリーYMCAピアノ合同発表会を行います！過去3年間
はコロナウイルスの影響で人数を制限しながら行って
いましたが、今年は制限を設けていませんので、多く
の方に観覧いただきたいと思います。お友だちや
ご家族、どなたでもお越しいただけます。

子どもたちは11月頃から発表曲の練習を始め、少
しずつ準備を進めています。舞台の上で発表するのは
緊張しますが、子どもたちが頑張る姿はとても感動的
です。今年ピアノをはじめたばかりの年中さんから、
長い間続けている中学生、そして成人の方まで、計
46名が参加予定です。

ぜひ素晴らしい演奏をお楽しみください♪

(担当スタッフ 藤崎 理奈)



日 時：2024年2月24日(土) 9:30～16:00

場 所：名古屋市西文化小劇場

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2023年12月21日～2024年1月20日)

維持会員(継続)

加藤 満 鬼頭美恵子 深谷 朗子 柴田洋治郎 近藤 豊 三口 大登 三口あゆみ 阿部 一雄
坂口 功祐 信田伊知郎 下村 明子 高田 士嗣 服部 庄三 早川 政人 松原 誠 中條 秀和
原 晃

寄付金・募金

(国際協力募金)

田口恭仁子 木村 美月 木村 咲妃 木村玲央名 大須賀章子 浅野真紀子 中井 信幸 橋爪 良和
板井 裕美 渡辺 采 森永 有美 原田 和実 高島 由愛 西村 夏向 伊藤 美恵 松田 美波
梶田 智美 橋元 紗良 鈴木 くみ 岡本 恵子 山口 澄真・栞璃 岡田 佳純・旬平

赤津機械株式会社 日本基督教団東海教会 こひつじ保育室

(能登半島地震緊急支援募金)

鈴木 雅丈 吉川 裕子 牧野 和博 川本 龍資 加藤 明宏

早天祈禱会

日 時 2月6日(火) 7:45～8:30
会 場 名古屋YMCA5Fチャペル
奨 励 日本基督教団名古屋中央教会
草地大作 牧師

ワイズコーナー 2月例会の予定

名古屋	2月13日(火) 19:00～	卓話「若々しさと好印象を手に入れる！ お顔のトレーニング」講師：近藤友子	名古屋YMCA 本館
名古屋 東海	2月 8日(木) 18:45～	オークション(TOF)	名古屋YMCA 本館
名古屋 グランパス	2月 7日(水) 19:00～	卓話「ワイズメンのためのユース理解」	名古屋YMCA 本館

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2023年度聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている。」
(イザヤ書43章19節)